

# 2019年3月期 決算説明会



会長兼CEO 鈴木博之

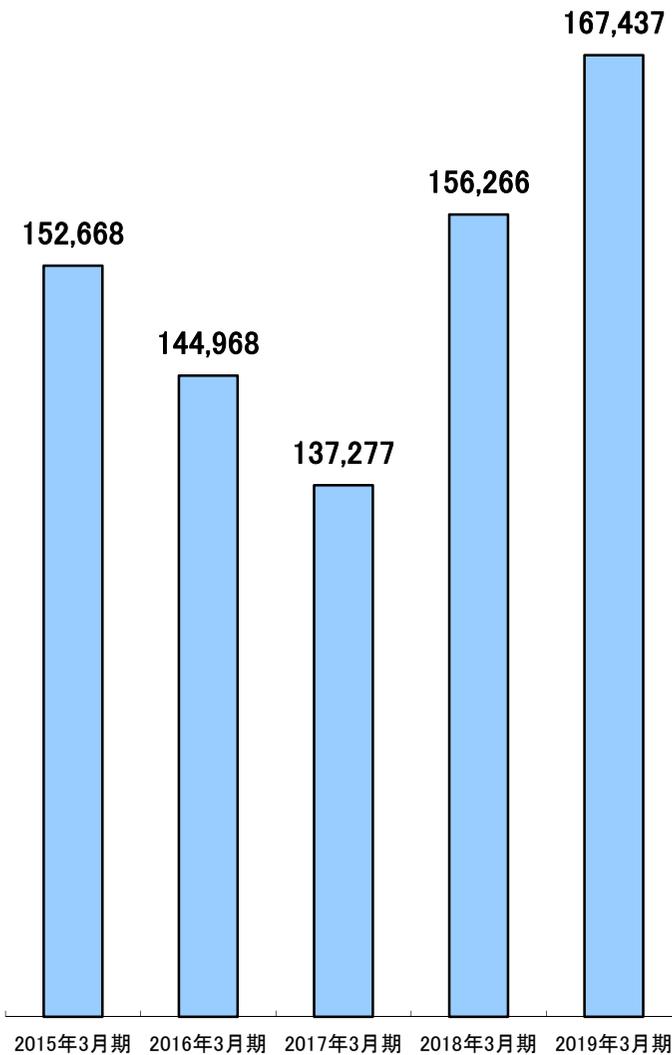
I. 2019年3月期通期 連結決算概要	…	P. 2
II. 2019年3月期通期 単体決算概要	…	P. 12
III. 2020年3月期 業績予想	…	P. 20
IV. 第5次中期経営計画の進捗状況	…	P. 26
(参考資料)海外各社の概要と業績の推移	…	P. 49
(参考資料)丸一グループの特色	…	P. 59

2019年5月15日

# I . 2019年3月期 連結決算概要

# 連結営業成績

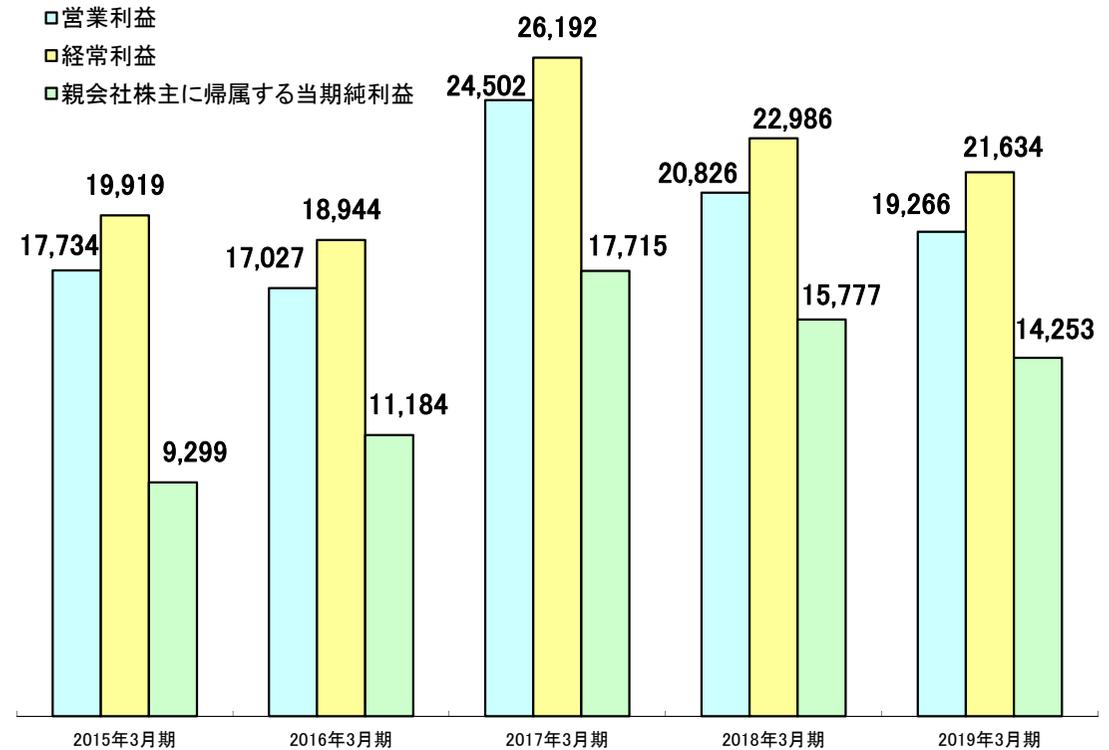
## 売上の状況 (百万円)



【単位 百万円】

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	増減率	2月発表 通期予想	増減率
売上高	156,266	167,437	+7.1%	168,000	▲0.3%
営業利益	20,826	19,266	▲7.5%	20,100	▲4.1%
経常利益	22,986	21,634	▲5.9%	21,500	+0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,777	14,253	▲9.7%	14,300	▲0.3%

## 利益の状況 (百万円)



# 連結営業成績 損益計算書

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)								
売上高	152,668	100.0%	144,969	100.0%	137,277	100.0%	156,266	100.0%	167,437	100.0%
売上原価	122,198	80.0%	114,974	79.3%	100,153	73.0%	122,304	78.3%	134,481	80.3%
売上総利益	30,470	20.0%	29,995	20.7%	37,125	27.0%	33,962	21.7%	32,956	19.7%
販売費及び一般管理費	12,736	8.3%	12,967	8.9%	12,622	9.2%	13,135	8.4%	13,689	8.2%
営業利益	17,734	11.6%	17,028	11.7%	24,502	17.8%	20,826	13.3%	19,266	11.5%
営業外収益	2,882	1.9%	2,933	2.0%	2,671	1.9%	2,933	1.9%	3,296	2.0%
営業外費用	697	0.5%	1,015	0.7%	981	0.7%	774	0.5%	928	0.6%
経常利益	19,919	13.0%	18,945	13.1%	26,192	19.1%	22,986	14.7%	21,634	12.9%
特別利益	856	0.6%	1,952	1.3%	330	0.2%	299	0.2%	573	0.3%
特別損失	5,444	3.6%	2,844	2.0%	398	0.3%	33	0.0%	990	0.6%
税金等調整前当期純利益	15,331	10.0%	18,053	12.5%	26,123	19.0%	23,251	14.9%	21,217	12.7%
法人税等	7,324	4.8%	7,457	5.1%	7,302	5.3%	6,966	4.5%	6,309	3.8%
非支配株主に帰属する当期純利益	▲ 1,293	▲ 0.8%	▲ 589	▲ 0.4%	1,106	0.8%	507	0.3%	654	0.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,300	6.1%	11,185	7.7%	17,715	12.9%	15,777	10.1%	14,253	8.5%

# 2019年3月期 連結P/L前期実績との差額要因



【単位 億円】

	2019年3月期通期			
	前期	今期	増減	増減率
<b>売上高</b>	1,562.7	1,674.4	+111.7	+7.1%
<b>営業利益</b>	208.3	192.7	▲15.6	▲7.5%
(受取利息・配当金等)	13.4	15.1	+1.7	
(持分法投資利益)	6.2	6.7	+0.5	
(その他営業外収入)	9.7	11.1	+1.4	
(支払利息)	2.3	2.6	+0.2	
(為替差損)	0.9	2.5	+1.6	
(不動産賃貸費用)	3.4	2.8	▲0.6	
(その他営業外費用)	1.1	1.4	+0.3	
<b>経常利益</b>	229.9	216.3	▲13.5	▲5.9%
(投資有価証券売却益)	0.8	0.6	▲0.2	
(その他特別利益)	2.2	5.1	+2.9	
(投資有価証券売却損)	0.1	0.0	▲0.0	
(投資有価証券評価損)	0.0	5.8	+5.8	
(固定資産除去損)	0.3	0.5	+0.2	
(その他特別損失)	0.0	3.6	+3.6	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	232.5	212.2	▲20.4	▲8.8%
(法人税等)	69.7	63.1	▲6.6	
(当期純利益)	162.9	149.1	▲13.8	
(非支配株主に帰属する当期純利益)	5.1	6.5	+1.5	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	157.8	142.5	▲15.3	▲9.7%

## 売上高

単体要因	+49.4億円
MAC	+20.0億円
MKK USA INC.	+22.1億円
MOST	+6.4億円
MMX	+1.0億円
SUNSCO(含Hanoi)	+2.8億円
KUMA	▲0.3億円
その他国内子会社	+2.5億円
連結消去・組換仕訳増減	+7.9億円

## 営業利益

単体要因	▲16.0億円
MAC	+6.9億円
MKK USA INC.	+3.3億円
MOST	▲2.0億円
MMX	▲0.4億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲2.6億円
KUMA	▲0.0億円
アルファメタル	▲0.2億円
その他国内子会社	▲1.4億円
連結消去・組換仕訳増減	▲3.1億円

## 経常利益

単体要因	▲16.0億円
MAC	+7.3億円
MKK USA INC.	+4.0億円
MOST	▲2.6億円
MMX	▲0.3億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲4.0億円
KUMA	▲1.4億円
アルファメタル	▲0.1億円
その他国内子会社利益	▲1.8億円
持分法適用関連会社	+0.3億円
連結消去・組換仕訳増減	+1.1億円

# 連結経営成績 セグメント別（内部売上・振替高を含む）



【単位 百万円】

	2018年3月期 通期				2019年3月期 通期			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	99,102	63.4%	17,601	84.5%	104,899	62.6%	15,768	81.8%
北米	26,736	17.1%	1,902	9.1%	32,504	19.4%	2,553	13.3%
アジア	30,687	19.6%	1,082	5.2%	31,095	18.6%	699	3.6%
調整額	▲ 259	▲0.2%	242	1.2%	▲ 1,060	▲0.6%	246	1.3%
合計	156,267	100.0%	20,827	100.0%	167,438	100.0%	19,266	100.0%

# 連結営業成績 損益計算書 2月開示(予想)との差額主要因



【単位 億円】

	2019年3月期 通期		
	2月予想	通期実績	差 額
売 上 高	1,680.0	1,674.4	▲5.6
営 業 利 益	201.0	192.7	▲8.3
経 常 利 益	215.0	216.3	+1.3
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	143.0	142.5	▲0.5

売 上 高	予想	実績	影響額
丸一単体	997.5億円	1,005.4億円	7.9億円
MAC	98.1億円	97.0億円	▲1.2億円
MKK USA INC.	145.3億円	140.4億円	▲4.9億円
MOST	60.3億円	60.3億円	0.1億円
MMX	22.4億円	22.7億円	0.4億円
SUNSCO(ハanoiを含む)	259.3億円	254.3億円	▲5.0億円
KUMA	66.5億円	63.7億円	▲2.7億円
アルファメタル	51.3億円	53.5億円	2.1億円
その他国内子会社	18.7億円	22.0億円	3.3億円
連結調整(機械売上、関連帯鋼が主体)	▲99.4億円	▲45.0億円	▲5.5億円

営 業 利 益	予想	実績	影響額
丸一単体	138.4億円	139.2億円	0.8億円
MAC	10.5億円	10.6億円	0.1億円
MKK USA INC.	10.3億円	11.2億円	0.9億円
MOST	2.4億円	2.0億円	▲0.4億円
MMX	4.0億円	4.3億円	0.3億円
SUNSCO(含 Hanoi)	5.2億円	1.3億円	▲3.9億円
KUMA	6.9億円	7.0億円	0.1億円
アルファメタル	0.6億円	0.6億円	0.0億円
その他国内子会社	13.8億円	16.7億円	2.9億円
のれん	0.0億円	0.0億円	0.0億円
連結調整	8.8億円	▲0.2億円	▲9.0億円

経 常 利 益	予想	実績	影響額
丸一単体	169.3億円	176.0億円	6.7億円
MAC	11.4億円	11.6億円	0.2億円
MKK USA INC.	9.8億円	11.3億円	1.5億円
MOST	2.2億円	1.8億円	▲0.5億円
MMX	4.1億円	4.4億円	0.3億円
SUNSCO(含 Hanoi)	2.9億円	2.5億円	▲0.4億円
KUMA	4.9億円	5.7億円	0.8億円
アルファメタル	0.8億円	0.9億円	0.1億円
その他国内子会社	16.8億円	19.7億円	3.0億円
持分法適用関連会社	5.2億円	6.7億円	1.5億円
連結調整	▲12.4億円	▲24.2億円	▲11.8億円

親会社株主に帰属する当期純利益	予想	実績	影響額
丸一単体	117.0億円	120.7億円	3.7億円
MAC	6.8億円	6.9億円	0.1億円
MKK USA INC.	8.8億円	10.2億円	1.3億円
MOST	1.3億円	1.1億円	▲0.3億円
MMX	2.8億円	3.1億円	0.2億円
SUNSCO(含 Hanoi)	2.7億円	2.2億円	▲0.5億円
KUMA	3.6億円	4.1億円	0.6億円
アルファメタル	0.5億円	0.6億円	0.1億円
その他国内子会社	11.7億円	14.4億円	2.8億円
連結調整	▲12.3億円	▲20.7億円	▲8.4億円

# 連結営業成績 主要会社2月開示(予想)と実績との差額

(単位 億円)

2019年2月開示通期予想					2019年3月期通期実績							
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
						差額		差額		差額		差額
丸一鋼管	997.5	138.4	169.3	117.0	1,005.4	7.9	139.2	0.8	176.0	6.7	120.7	3.7
MAC	98.1	10.5	11.4	6.8	97.0	▲1.2	10.6	0.1	11.6	0.2	6.9	0.1
MKK USA INC.	145.3	10.3	9.8	8.8	140.4	▲4.9	11.2	0.9	11.3	1.5	10.2	1.3
MOST	60.3	2.4	2.2	1.3	60.3	0.1	2.0	▲0.4	1.8	▲0.5	1.1	▲0.3
MMX	22.4	4.0	4.1	2.8	22.7	0.4	4.3	0.3	4.4	0.3	3.1	0.2
SUNSCO (含Hanoi)	259.3	5.2	2.9	2.7	254.3	▲5.0	1.3	▲3.9	2.5	▲0.4	2.2	▲0.5
KUMA	66.5	6.9	4.9	3.6	63.7	▲2.7	7.0	0.1	5.7	0.8	4.1	0.6
アルファメタル	51.3	0.6	0.8	0.5	53.5	2.1	0.6	0.0	0.9	0.1	0.6	0.1
その他 国内子会社	18.7	13.8	16.8	11.7	22.0	3.3	16.7	2.9	19.7	3.0	14.4	2.8
持分法適用 関連会社			5.2						6.7	1.5		
のれん代		0.0					0.0	0.0				
連結調整	▲39.4	8.8	▲12.4	▲12.3	▲45.0	▲5.5	▲0.2	▲9.0	▲24.2	▲11.8	▲20.7	▲8.4
合計	1,680.0	201.0	215.0	143.0	1,674.4	▲5.6	192.7	▲8.3	216.3	1.3	142.5	▲0.5

# 連結営業成績 貸借対照表 前期対比



【単位 億円】

	2019/3 月期 通期		
	前期末	当期金額	差 額
流 動 資 産	1,587	1,657	+69.5
( 現 金 及 び 預 金 )	584	608	+23.6
( 受 手 ・ 売 掛 金 )	365	368	+2.7
( 棚 卸 資 産 )	275	332	+57.1
( そ の 他 )	363	349	▲13.9
固 定 資 産	1,570	1,554	▲16.3
( 有 形 固 定 資 産 )	806	794	▲12.0
( 無 形 固 定 資 産 )	18	16	▲2.1
( 投 資 そ の 他 の 資 産 )	746	744	▲2.2
資 産 合 計	3,157	3,210	+53.2
流 動 負 債	347	366	+19.8
( 支 手 ・ 買 掛 金 )	184	191	+6.4
( 短 期 借 入 金 )	63	88	+24.9
( 未 払 法 人 税 等 )	30	27	▲3.2
( そ の 他 )	68	60	▲8.3
固 定 負 債	117	95	▲22.8
負 債 合 計	464	461	▲3.1
純 資 産	2,693	2,749	+56.3
( 資 本 金 )	96	96	+0.0
( 資 本 剰 余 金 )	159	159	+0.0
( 利 益 剰 余 金 )	2,485	2,561	+75.8
( 自 己 株 式 )	▲271	▲270	+0.1
(その他有価証券評価差額)	124	110	▲13.9
( 為 替 調 整 勘 定 )	▲6	▲15	▲9.1
(退職給付にかかる調整額)	▲1	▲1	▲0.2
( 新 株 予 約 権 )	2	2	+0.2
( 非 支 配 株 主 持 分 )	105	108	+3.3
負 債 ・ 純 資 産 合 計	3,157	3,210	+53.2

流 動 資 産 増 減 要 因

現金及び預金	国内	+35.4億円	海外	▲9.2億円	連結調整	▲2.5億円
受手・売掛金	国内	+27.7億円	海外	▲3.3億円	連結調整	▲21.7億円
たな卸資産	国内	+15.1億円	海外	+41.2億円	連結調整	+0.8億円
その他	子会社NCD	▲7.2億円	その他	▲13.5億円	連結調整	+6.8億円

固 定 資 産 増 減 要 因

有形固定資産	丸一	▲5.5億円	国内子会社	+1.8億円	MOST	+5.8億円
	MAC	+3.3億円	MKK USA INC.	+2.9億円	SUNSCO	▲16.6億円
無形固定資産	KUMA	▲1.2億円	MMX	▲0.1億円	連結調整	▲2.5億円
	丸一	▲0.4億円	子会社	▲1.7億円	連結調整	+0.0億円
投資その他の資産	国内	▲2.9億円	海外	▲0.8億円	連結調整	+1.5億円

流 動 負 債 増 減 要 因

支手・買掛金	国内	+24.3億円	海外	+1.1億円	連結調整	▲19.0億円
短期借入金	アルファメタル	+0.8億円	SUNSCO	+22.7億円	MKK USA INC.	+1.0億円
	KUMA	+2.0億円	MMX	+0.4億円	連結調整	▲2.0億円
未払法人税等	丸一	▲2.3億円	子会社	▲0.9億円	連結調整	▲0.0億円
その他	丸一	▲8.4億円	子会社	+0.0億円	連結調整	+0.0億円

固 定 負 債 増 減 要 因

固定負債	丸一	▲10.7億円	国内子会社	▲0.4億円	連結調整	+8.3億円
	SUNSCO	▲17.9億円	KUMA	▲4.0億円	MKK USA INC.	+0.1億円
	MMX	+0億円	MAC	+2億円	MOST	+0億円

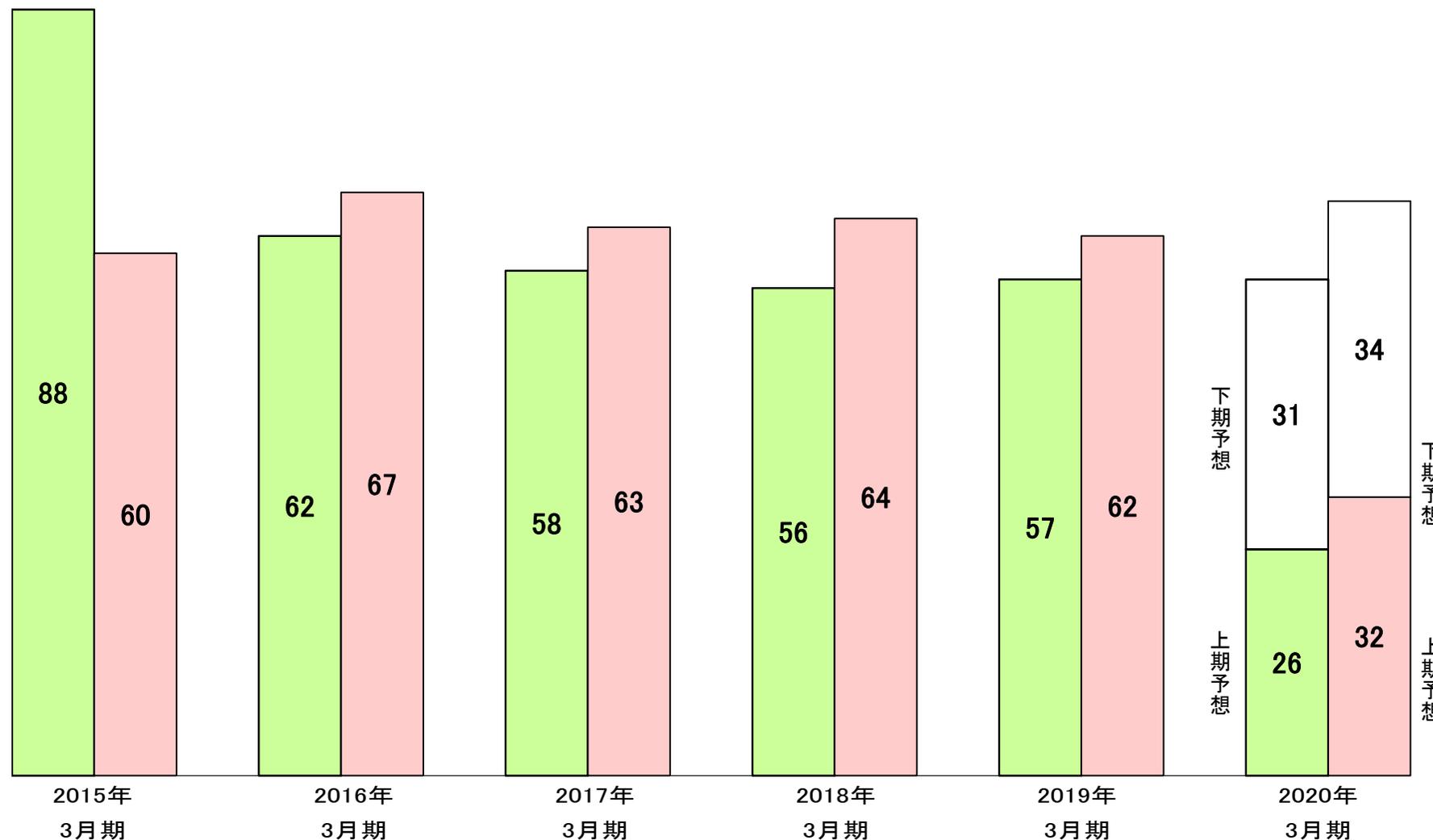
純 資 産 増 減 要 因

利益剰余金	国内	+60.8億円	海外	+18.5億円	連結調整	▲3.5億円
その他有価証券評価差額金	丸一	▲12.9億円	子会社	▲0.0億円	連結調整	▲1.0億円
為替調整勘定	17/12末	¥113.00/USD	18/12末	¥111.00/USD		

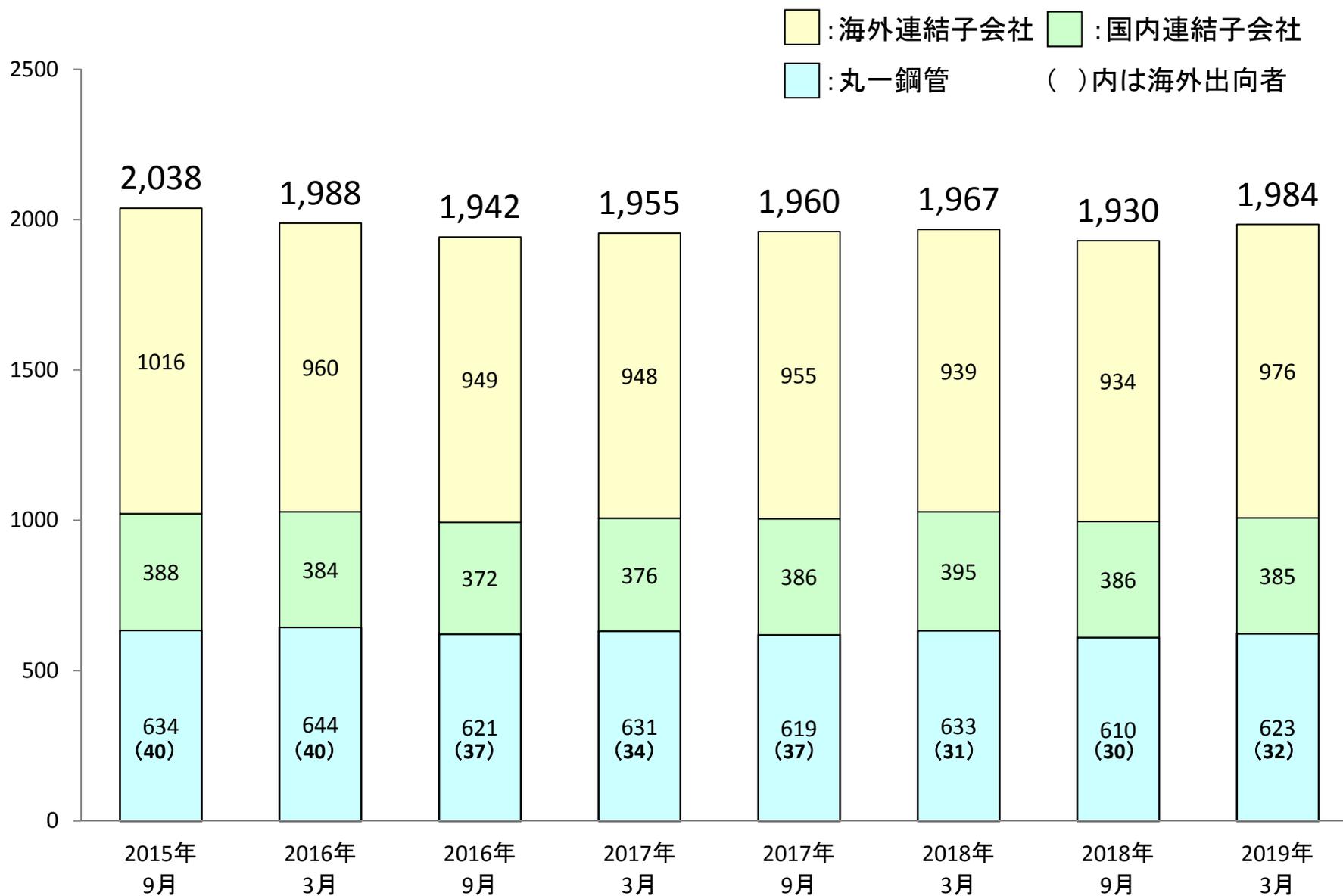
# 連結営業成績 設備投資額及び減価償却費の推移

【単位:億円】

- 減価償却費
- 設備投資額



# 従業員数の推移

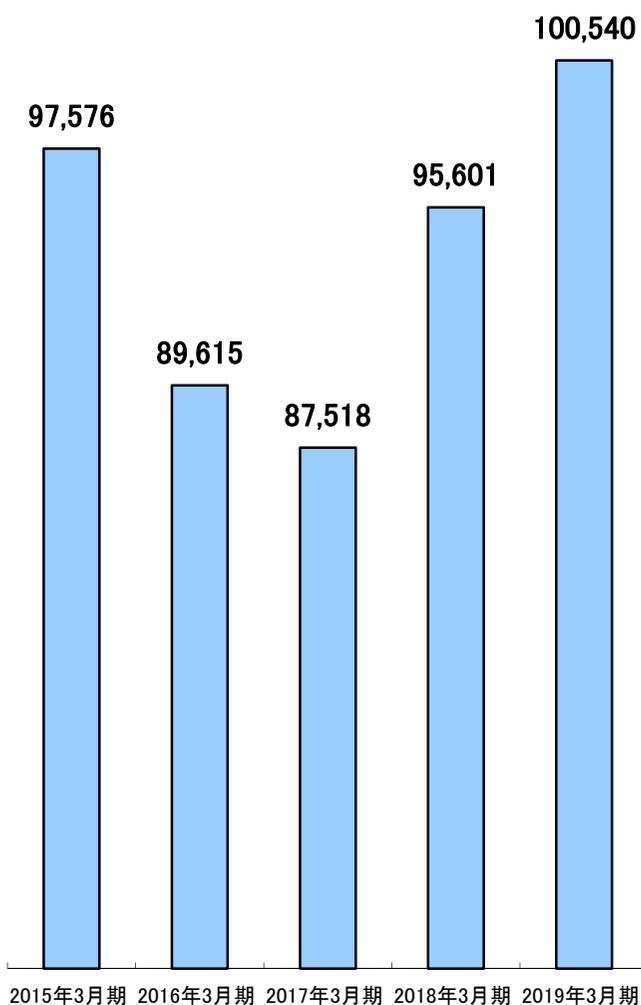


## Ⅱ. 2019年3月期 単体決算概要

# 単体経営成績

## 売上の状況

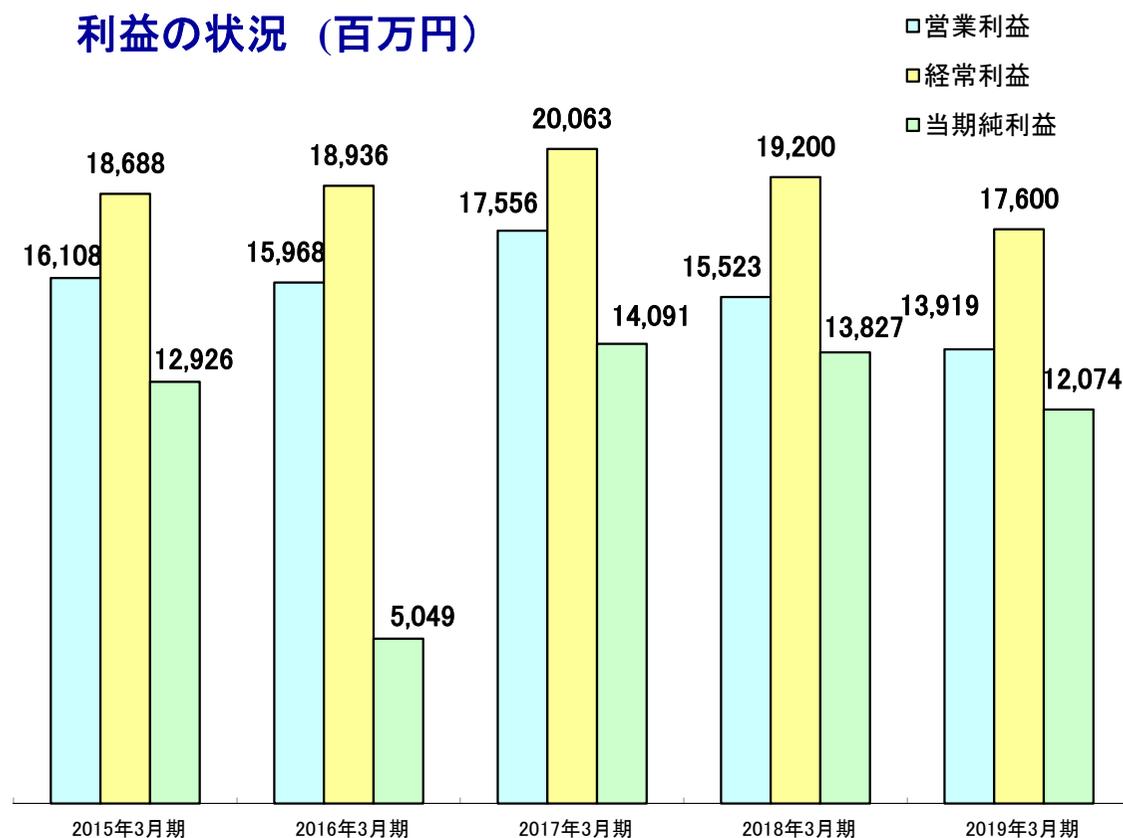
(百万円)



【単位 百万円】

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	増減率	2月発表 通期予想	増減率
売上高	95,601	100,540	+5.2%	99,754	+0.8%
営業利益	15,523	13,919	▲ 10.3%	13,844	+0.5%
経常利益	19,200	17,600	▲ 8.3%	16,931	+4.0%
当期純利益	13,827	12,074	▲ 12.7%	11,703	+3.2%

## 利益の状況 (百万円)



# 単体経営成績 損益計算書

	2015年3月期 通 期		2016年3月期 通 期		2017年3月期 通 期		2018年3月期 通 期		2019年3月期 通 期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)								
売上高	97,576	100.0%	89,615	100.0%	87,518	100.0%	95,601	100.0%	100,540	100.0%
売上原価	74,875	76.7%	67,193	75.0%	63,589	72.7%	73,616	77.0%	79,892	79.5%
売上総利益	22,700	23.3%	22,422	25.0%	23,928	27.3%	21,985	23.0%	20,647	20.5%
販売費及び一般管理費	6,591	6.8%	6,453	7.2%	6,371	7.3%	6,461	6.8%	6,727	6.7%
営業利益	16,108	16.5%	15,968	17.8%	17,556	20.1%	15,523	16.2%	13,919	13.8%
営業外収益	2,900	3.0%	3,463	3.9%	3,088	3.5%	4,140	4.3%	4,143	4.1%
営業外費用	320	0.3%	494	0.6%	582	0.7%	463	0.5%	462	0.5%
経常利益	18,688	19.2%	18,936	21.1%	20,063	22.9%	19,200	20.1%	17,600	17.5%
特別利益	823	0.8%	1,944	2.2%	195	0.2%	298	0.3%	308	0.3%
特別損失	40	0.0%	9,212	10.3%	368	0.4%	28	0.0%	853	0.8%
税引前当期純利益	19,471	20.0%	11,669	13.0%	19,890	22.7%	19,470	20.4%	17,055	17.0%
法人税等	6,065	6.2%	6,833	7.6%	5,888	6.7%	5,618	5.9%	5,141	5.1%
法人税等調整額	479	0.5%	▲ 213	▲0.2%	▲ 89	▲0.1%	24	0.0%	▲ 159	▲0.2%
当期純利益	12,926	13.2%	5,049	5.6%	14,091	16.1%	13,827	14.5%	12,074	12.0%

# 単体経営成績 損益計算書 前期実績との差額要因

【単位 億円】

	2019年3月期通期			
	前期	今期	増減	増減率
売上高	956.0	1,005.4	+49.4	+5.2%
営業利益	155.2	139.2	▲16.0	▲10.3%
(受取配当金・債券利息等)	28.6	27.2	▲1.4	
(家賃収入)	7.3	7.4	+0.1	
(ロイヤリティ収入)	4.0	4.3	+0.3	
(その他営業外収益)	1.4	2.5	+1.1	
(賃貸費用)	4.2	3.8	▲0.3	
(その他営業外費用)	0.4	0.8	+0.4	
経常利益	192.0	176.0	▲16.0	▲8.3%
(投資有価証券売却益)	0.8	0.6	▲0.2	
(固定資産売却益)	2.2	0.0	▲2.2	
(その他特別利益)	0.0	2.5	+2.5	
(有価証券売却損)	0.1	0.0	▲0.0	
(有価証券評価損)	0.0	5.8	+5.8	
(固定資産除去費・撤去費)	0.2	0.4	+0.2	
(その他特別損失)	0.0	2.3	+2.3	
税金等調整前当期純利益	194.7	170.6	▲24.1	▲12.4%
(法人税等)	56.2	51.4	▲4.8	
(法人税等調整額)	0.2	▲1.6	▲1.8	
当期純利益	138.3	120.7	▲17.5	▲12.7%

## 売上高増減

国内パイプ販売数量減	▲9.5億円
国内パイプ販売単価上昇	38.2億円
輸出パイプ販売数量増	2.4億円
輸出パイプ販売単価上昇	0.7億円
帯鋼販売数量増	1.5億円
帯鋼販売単価上昇	5.6億円
特品事業部増収	3.3億円
関連帯鋼売上減収	▲1.0億円
機械その他増収	8.2億円

## 営業利益増減

総販売数量減	▲0.9億円
総販売単価上昇	54.8億円
売上原価増	▲66.9億円
販売費及び一般管理費増	▲3.0億円

## 経常利益増減

営業利益より	▲16.0億円
受取配当金・有価証券利息等減	▲1.4億円
その他営業外収益増	1.5億円
営業外費用減	▲0.0億円

## 税金等調整前当期純利益増減

経常利益より	▲16.0億円
投資有価証券売却益減	▲0.2億円
固定資産売却益減	▲2.2億円
投資有価証券売却損減	0.0億円
有価証券評価損増	▲5.8億円
固定資産除去費・撤去費増	▲0.2億円
その他項目	0.2億円

## 当期純利益増減

税引前当期純利益より	▲24.1億円
法人税等増	4.8億円
法人税等調整額減	1.8億円

# 単体営業成績 損益計算書 2月開示(予想)との差額主要因



【単位 億円】

	2019年3月期 通期			
	2月開示 通期予想	通期実績	差 額	増 減 率
売 上 高	997.5	1,005.4	+7.9	+0.8%
営 業 利 益	138.4	139.2	+0.8	+0.5%
経 常 利 益	169.3	176.0	+6.7	+4.0%
税金等調整前 当期純利益	168.9	170.6	+1.7	+1.0%
当期純利益	117.0	120.7	+3.7	+3.2%

## 売 上 高 増 減

国内パイプ販売数量増	+3.1億円
国内パイプ販売単価上昇	+1.9億円
輸出パイプ販売数量増	+1.3億円
輸出パイプ販売単価上昇	+0.0億円
帯鋼販売数量増	+2.2億円
帯鋼販売単価下落	▲0.3億円
特品事業部減収	▲2.1億円
関連帯鋼売上増収	+1.8億円
機械その他増収	+0.2億円

## 営 業 利 益 増 減

全体販売数量増	+1.1億円
全体販売単価上昇	+0.2億円
(内国内パイプ単価上昇)	(+2.2億円)
売上原価増	▲2.3億円
販管費減	+1.9億円

## 経 常 利 益 増 減

営業利益より	+0.8億円
受取配当金・有価証券利息等増	+1.5億円
その他営業外収益増	+2.1億円
営業外費用減	+2.3億円

## 税 引 前 利 益 増 減

経常利益より	+6.7億円
投資有価証券売却益増	+0.6億円
固定資産売却益減	▲0.2億円
固定資産除去費・撤去費増	▲0.0億円
投資有価証券売却損・評価損増	▲5.8億円
その他増益	+0.4億円

## 当 期 純 利 益 増 減

税引前利益より	+1.7億円
法人税等増	+0.4億円
法人税等調整額減	+1.6億円

# 単体営業成績 貸借対照表 前期対比

【単位 億円】

	2019年3月期 通期		
	前 期	今 期	差 額
流 動 資 産	1,040.2	1,080.2	+40.0
(現金及び預金)	498.0	519.2	+21.2
(受手・売掛金)	342.3	360.0	+17.7
(棚卸資産)	100.3	112.1	+11.8
(その他)	99.6	89.0	▲10.6
固 定 資 産	1,349.3	1,341.0	▲8.2
(有形固定資産)	439.6	434.2	▲5.5
(無形固定資産)	2.6	2.2	▲0.4
(投資その他の資産)	907.1	904.7	▲2.4
資 産 合 計	2,389.4	2,421.2	+31.8
流 動 負 債	221.8	222.8	+1.0
(支手・買掛金)	154.5	166.2	+11.7
(未払法人税等)	25.8	23.5	▲2.3
(その他)	41.5	33.1	▲8.4
固 定 負 債	67.8	57.1	▲10.7
負 債 合 計	289.6	279.9	▲9.7
純 資 産	2,099.9	2,141.3	+41.4
(資本金)	96.0	96.0	+0.0
(資本剰余金)	147.3	147.3	+0.0
(利益剰余金)	2,009.6	2,063.6	+54.1
(自己株式)	▲270.6	▲270.5	+0.1
(その他有価証券評価差額)	115.9	103.0	▲12.9
(新株予約権)	1.7	1.9	+0.2
負債・純資産合計	2,389.4	2,421.2	+31.8

## 流動資産

現金及び預金	+21.2億円	減価償却	+25.7億円	投有評価損	+5.8億円	NCD預入	+0.0億円
税前利益	+170.6億円	債券関連	▲10.0億円	運転資金	▲18.9億円	投信購入	+1.8億円
株式関連	+0.0億円	設備投資	▲21.7億円	関係会社株式	▲12.1億円	その他	+0.1億円
配当・納税	▲120.1億円	売上債権	+17.7億円				
受取手形	▲1.1億円	売掛金	+18.7億円				
たな卸資産	+11.8億円						
製品	+2.4億円	原材料	+9.3億円	貯蔵品他	+0.1億円		
その他	▲10.6億円						
NCD	+0.0億円	その他	▲10.6億円				

## 固定資産

有形固定資産	▲5.5億円	減価償却	▲25.7億円				
新規投資	+20.3億円	投資その他の資産	▲2.4億円				
投資有価証券評価差額金	▲17.9億円	株式関係	+12.2億円	債券関係	+16.3億円		
投資有価証券評価損	▲5.8億円	その他	▲7.2億円				

## 流動負債

支手・買掛金	+11.7億円	買掛金	+10.1億円				
支手電債	+1.6億円	その他	▲8.4億円				
設備未払・設備支手	▲8.3億円	その他	▲0.1億円				

## 固定負債

固定負債	▲10.7億円	繰延税金固定負債	▲11.2億円	その他	+0.7億円		
退職給付引当金	▲0.2億円						

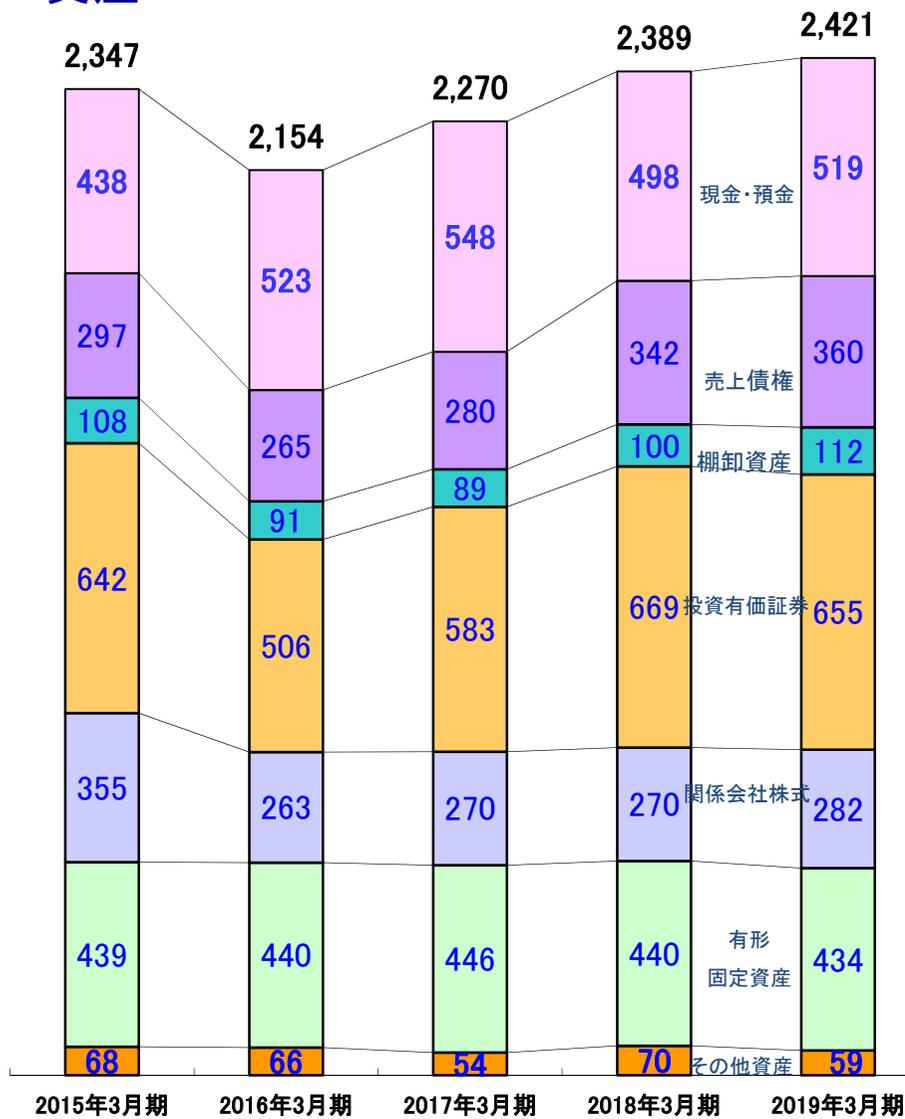
## 純資産

利益剰余金	+54.1億円	配当金	▲46.0億円	中間配当金	▲20.7億円	自己株式分差損	+0.0億円
当期純利益	+120.7億円	債券	▲0.9億円	上場株式	▲12.4億円	海外上場株式	+0.9億円
その他有価証券評価差額金	▲12.9億円			投信	▲0.5億円		

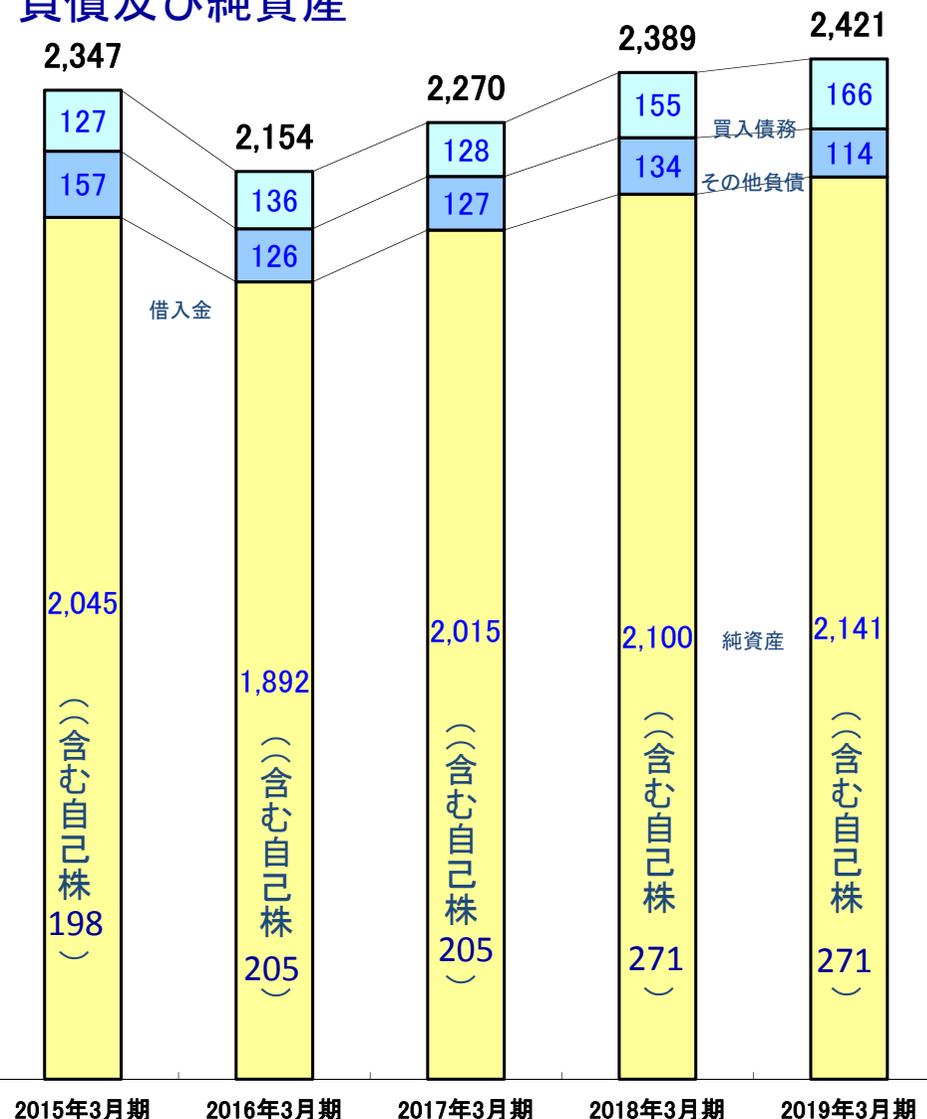
# 単体営業成績 貸借対照表の推移

【単位: 億円】

## 資産



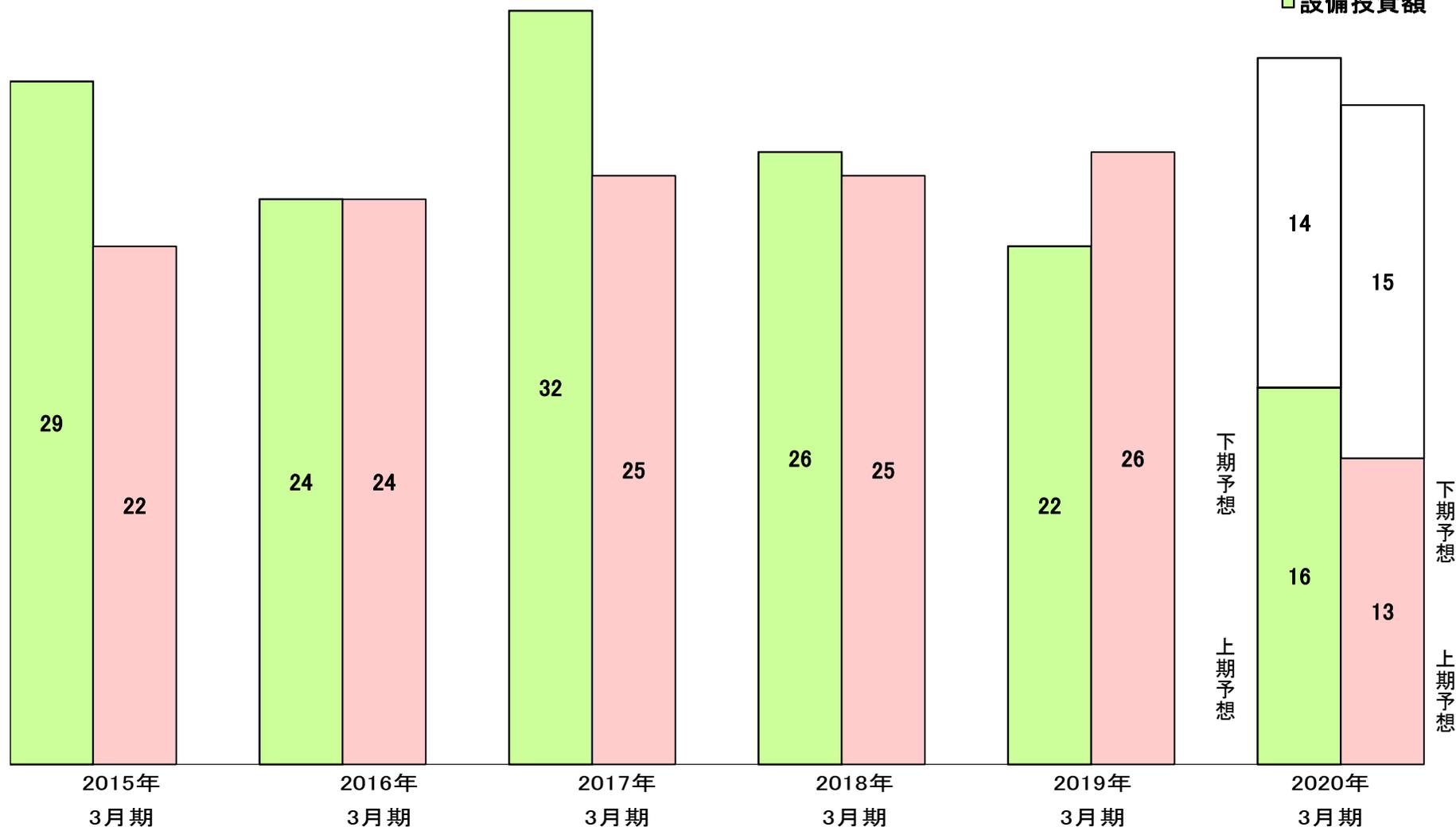
## 負債及び純資産



# 単体営業成績 設備投資額及び減価償却費の推移

【単位:億円】

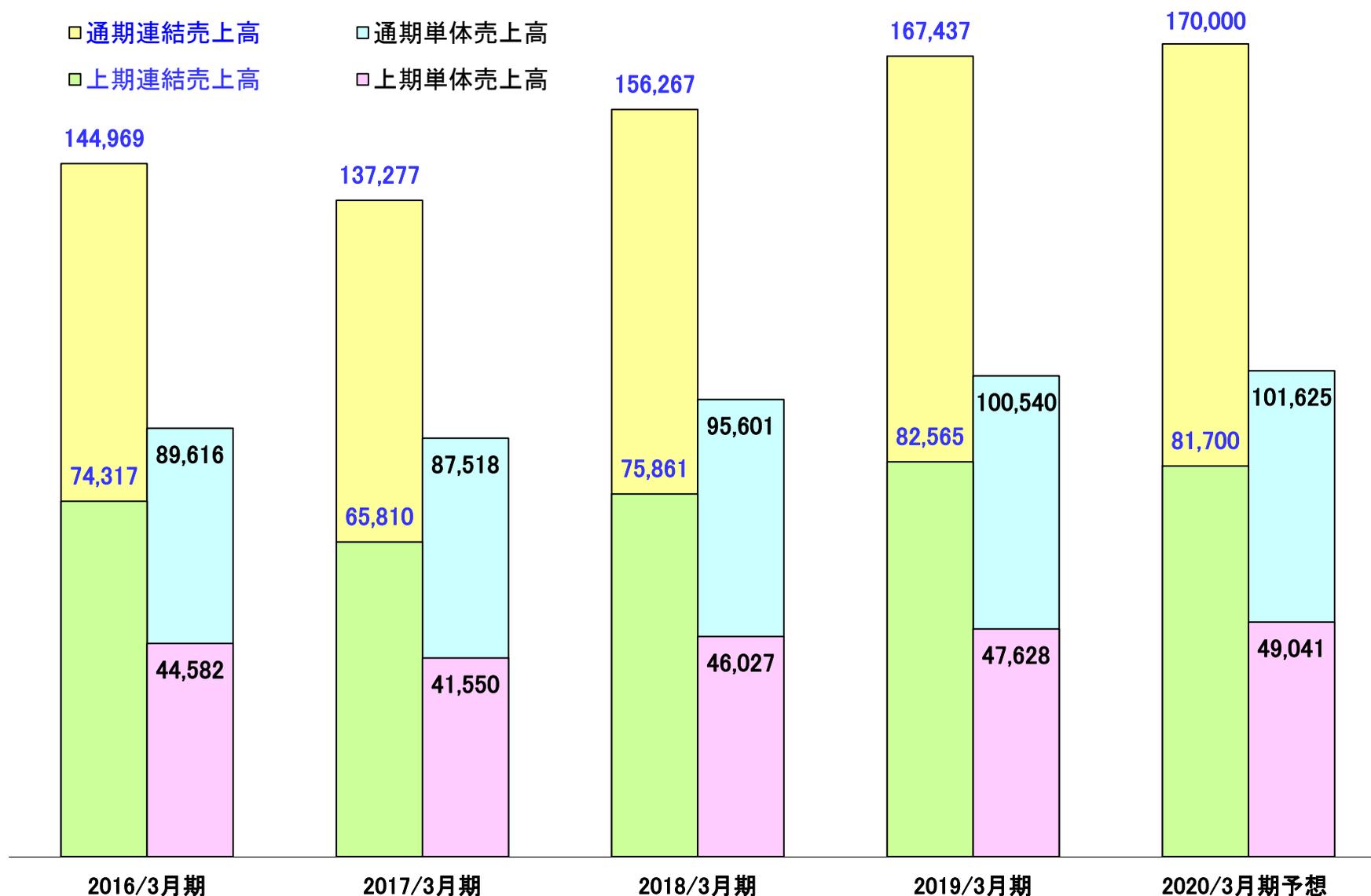
□ 減価償却費  
□ 設備投資額



## Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

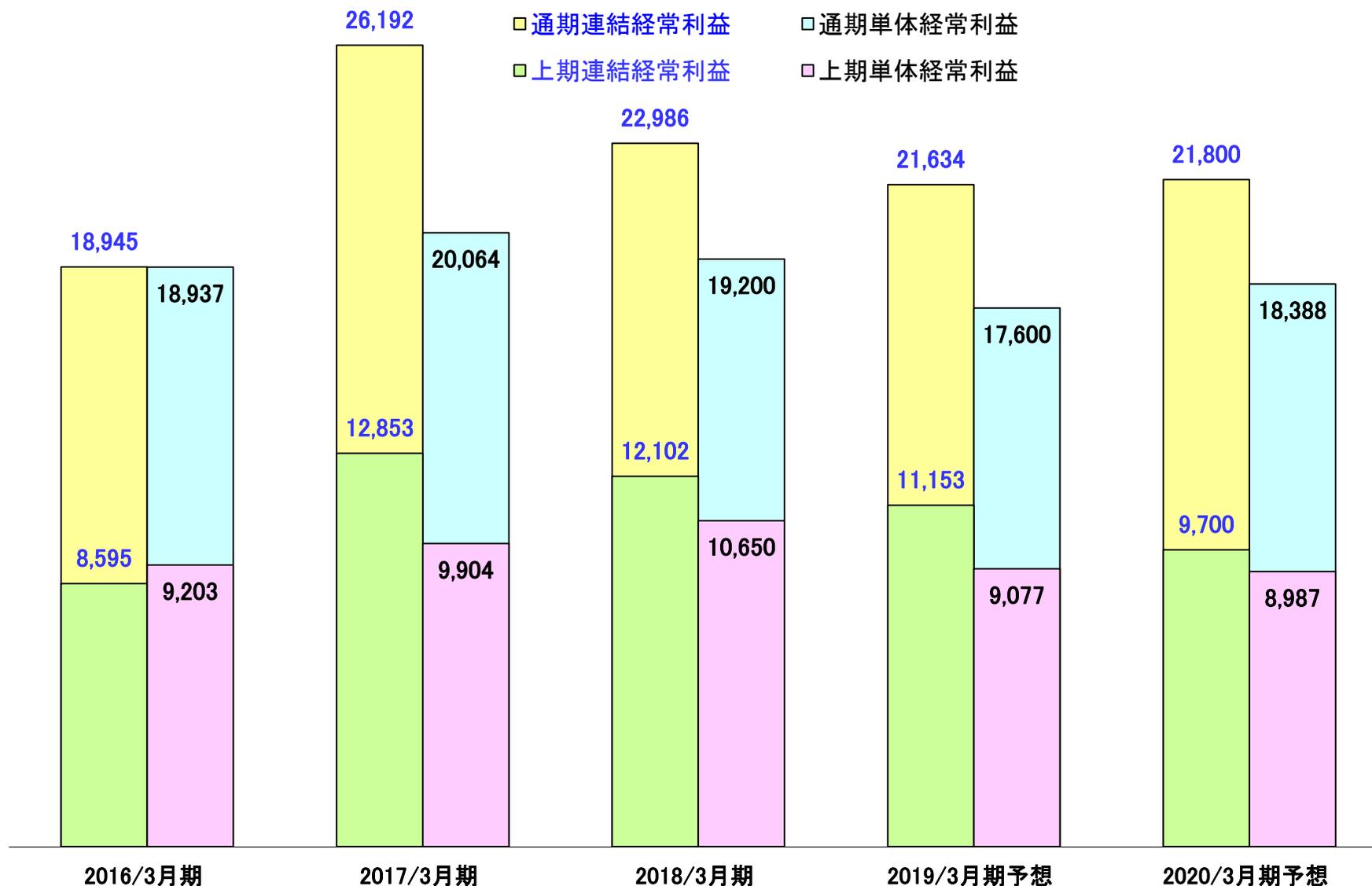
# 連結及び単体売上高 実績と予想

【単位：百万円】



# 連結及び単体経常利益 実績と予想

【単位:百万円】



# 連結営業成績予想 セグメント別 第5次中計目標対比



【単位 百万円】

	2020年3月期 予想				第5次中計 2021年3月期 目標			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	109,071	64.2%	16,863	84.3%	106,000	60.6%	18,400	76.7%
北米	33,393	19.6%	1,509	7.5%	32,000	18.3%	2,600	10.8%
アジア	31,847	18.7%	1,432	7.2%	37,000	21.1%	3,000	12.5%
調整額	▲ 4,311	▲ 2.5%	196	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	170,000	100.0%	20,000	100.0%	175,000	100.0%	24,000	100.0%

## 連結及び単体利益予想

連結決算予想	2020年3月期予想				2019年3月期 実績	通期予想 前年実績比
	上期予想	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	81,700	88,300	170,000	-	167,438	1.5%
営業利益	8,700	11,300	20,000	11.8%	19,266	3.8%
経常利益	9,700	12,100	21,800	12.8%	21,635	0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,600	8,200	14,800	8.7%	14,254	3.8%

単体決算予想	2020年3月期予想				2019年3月期 実績	通期予想 前年実績比
	上期予想	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	49,041	52,584	101,625	-	100,541	1.1%
営業利益	6,837	8,396	15,233	15.0%	13,920	9.4%
経常利益	8,987	9,401	18,388	18.1%	17,601	4.5%
当期純利益	6,221	6,513	12,734	12.5%	12,074	5.5%

# 連結主要会社別通期予想 2020年3月期



	86 期 上 期 予 想							
	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	
		前期比		前期比		前期比		前期比
丸 一 鋼 管	49,041	1,413	6,837	235	8,987	▲91	6,221	▲221
M A C	4,583	▲511	67	▲606	104	▲609	63	▲365
MKK USA INC.	6,886	▲422	178	▲506	193	▲470	172	▲422
M O S T	3,327	▲223	94	▲210	90	▲191	54	▲115
M M X	1,289	144	218	1	216	▲14	151	▲10
SUNSCO (含 Hanoi)	11,992	▲807	▲50	▲268	▲149	▲238	▲162	▲240
K U M A	3,066	▲269	340	▲9	335	175	244	128
ア ル フ ァ ル メ タ ル	2,348	▲213	24	▲3	32	▲5	22	▲2
そ の 他 国 内 子 会 社	1,260	232	744	95	1,034	103	719	72
持 分 法 損 益					156	▲31		
の れ ん 代			0	0				
連 結 調 整	▲2,092	▲208	248	▲70	▲1,298	▲83	▲884	390
合 計	81,700	▲865	8,700	▲1,342	9,700	▲1,453	6,600	▲786

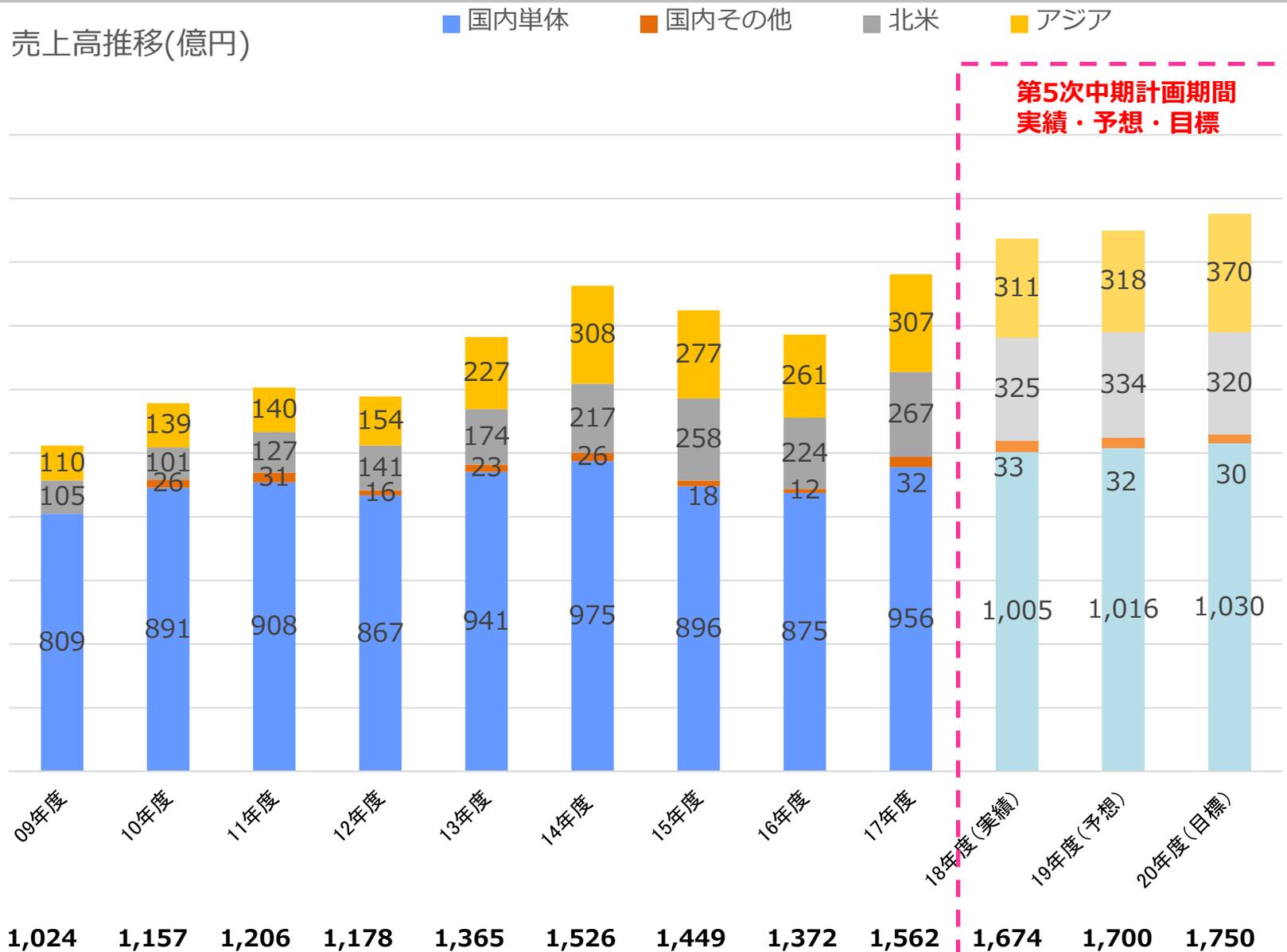
	86 期 通 期 予 想							
	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	
		前期比		前期比		前期比		前期比
	101,625	1,085	15,233	1,314	18,388	787	12,734	660
	9,955	259	343	▲720	387	▲771	232	▲463
	13,513	▲527	436	▲683	472	▲662	421	▲595
	7,311	1,280	270	67	266	91	160	55
	2,613	339	460	33	458	22	321	15
	25,669	236	749	620	588	343	549	332
	6,178	▲195	683	▲13	672	105	491	77
	4,913	▲434	88	23	104	13	72	11
	2,534	333	1,542	▲123	1,854	▲120	1,288	▲153
					465	▲206		
			0	0				
	▲4,311	187	196	217	▲1,854	563	▲1,468	607
	170,000	2,562	20,000	734	21,800	165	14,800	546

## IV. 第5次中期経営計画の進捗状況

# 第5次中期経営計画の進捗状況（数値目標）

目標達成	第4次中期経営計画 最終年度	第5次中期経営計画			
	2017年度 実績	2018年度 (目標)	2018年度 (実績)	2019年度中計目標 (2019年度予想)	2020年度 (目標)
売上高 (億円)	1,562	1,645	1,674	1,700 (1,700)	1,750
営業利益 (億円)	208	189	192	196 (200)	240
営業利益率	13.3%	11.5%	11.5%	11.5% (11.8%)	13.7%
ROE	6.2%	5.3%	5.5%	5.5% (5.5%)	6.5%
株主還元率	80.5% (3年平均)	50.0%	50.7%	50.0% (50.0%)	50.0%
社会貢献 (百万円)	22 (3年平均)	30	25	30 (30)	30

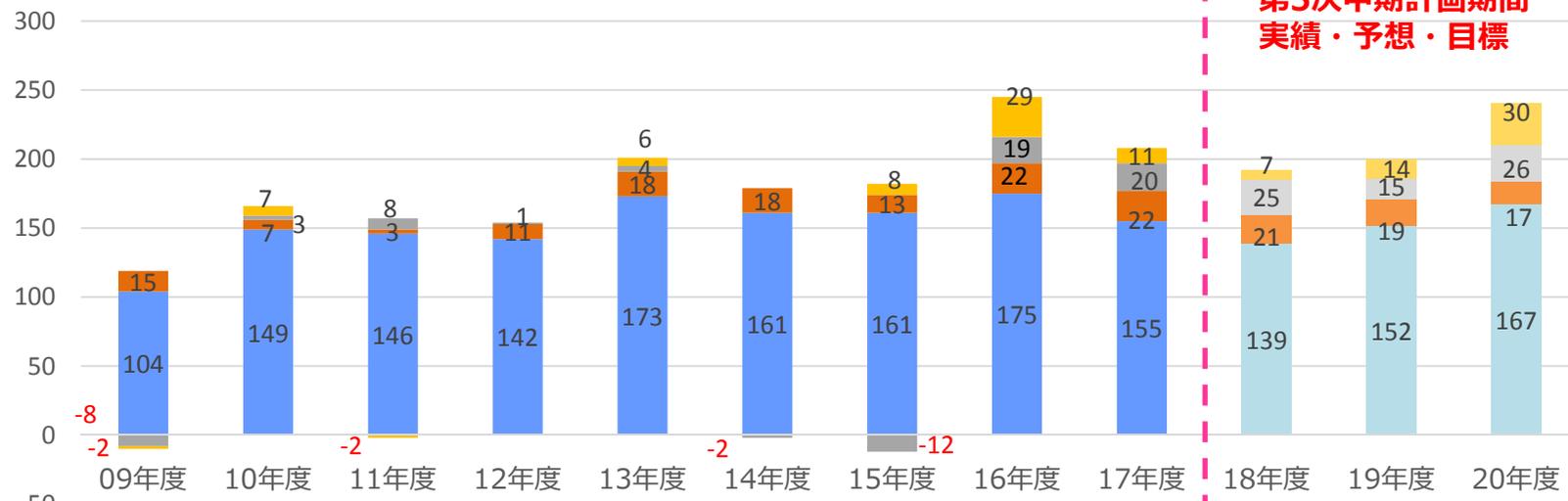
# 売上高目標と進捗状況



# 営業利益目標と進捗状況

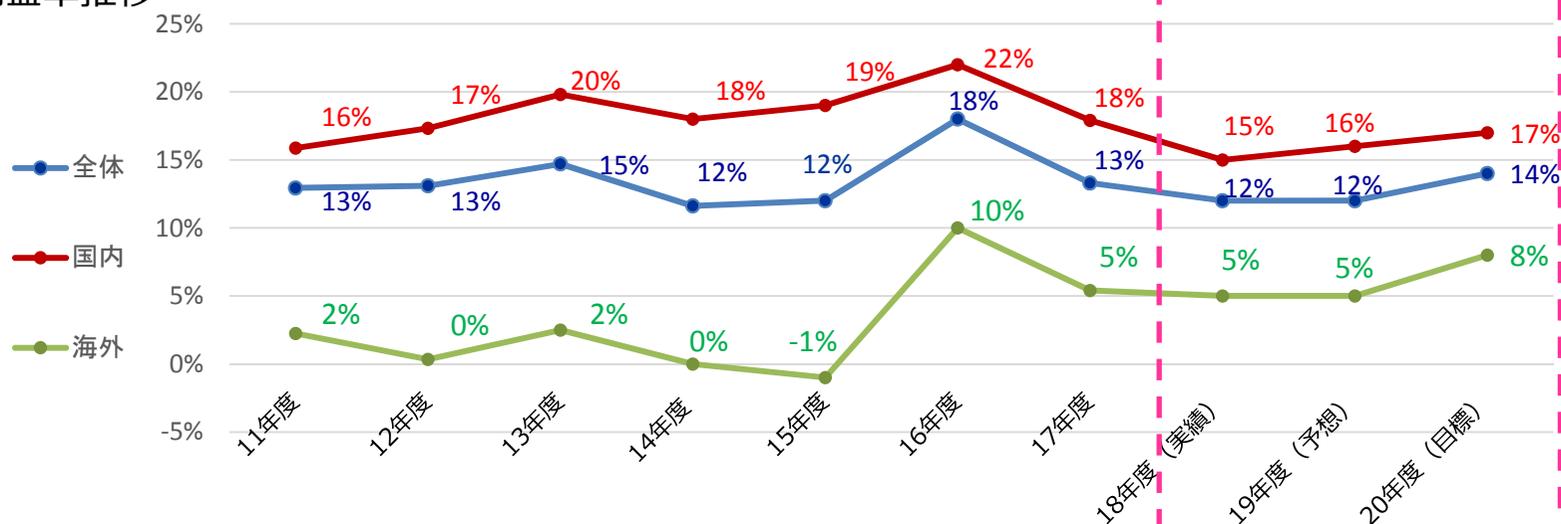
営業利益推移(億円)

■ 国内単体 ■ 国内その他 ■ 北米 ■ アジア



第5次中期計画期間  
実績・予想・目標

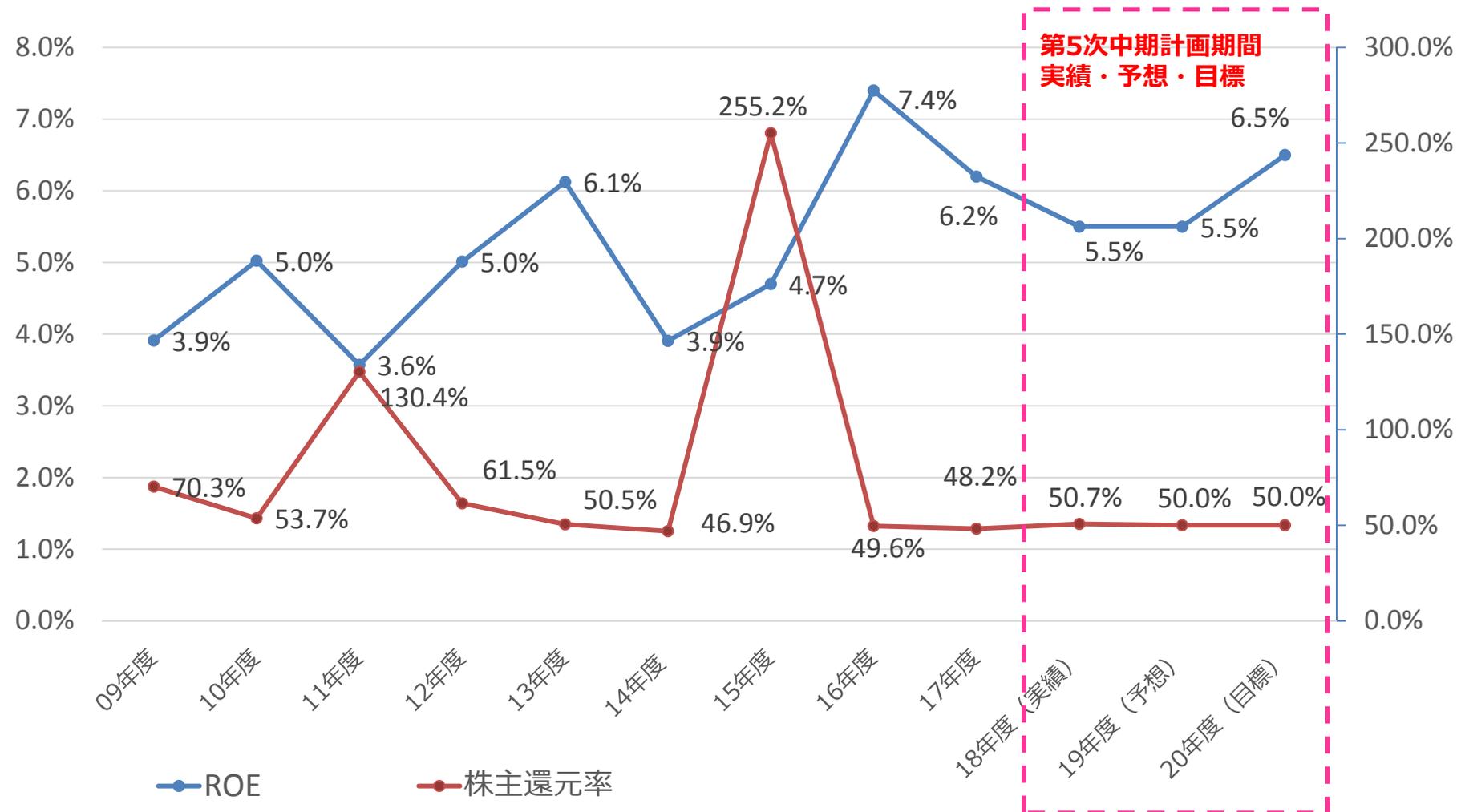
営業利益率推移 (%)



# 資本政策目標と進捗状況

## 第5次中期経営計画の目標

- ・株主還元率（2018年度・2019年度・2020年度）⇒ 50.0%
- ・ROE目標：2018年度⇒5.3%、2019年度⇒5.5%、2020年度⇒6.5%



# 第5次中期経営計画期間の設備投資計画と進捗状況

		中計3ヶ年計 (億円)	2018年度実績 (億円・支払ベース)	進捗度 (%)
設備投資合計		210	57	28%
国内 グループ	設備投資	130	31	24%
	減価償却	107	32	—
海外 グループ	設備投資	80	26	33%
	減価償却	109	30	—

## 【国内】第5次中期経営計画期間の設備投資計画

		2018年度 (単位：億円)	
		中計	実績
国内 グループ	設備投資	49	31
	減価償却	34	32

単位：億円

案件	中計 予算金額	2018年度 投資額 (億円)	完成時期
2018年度 (第85期) 実績			
東京工場 2号機更新	2.1	2.2	2018/6済
本社・大阪事務所、丸一鋼販本社・大阪営業所移転	-	2.6	2018/10済
丸一鋼販 (決算期：2月) 新潟営業所移転	8.9	5.7	2019/3済
堺工場 変電設備更新	5.2	3.7	2019/8予定
鹿島特品工場 拡張管加工設備	3.8	1.8	2019/10予定
詫間工場 圧延ライン更新 (STEP1~3)	1.8	1.4	未定
2019年度 (第86期) 以降			
東京工場 No.1スリッター更新	4.1	0.3	2019/5予定
堺工場 SR加熱機更新	4.3	-	2019/5予定
九州工場 第4工場建設、カラー塗装ライン・C型鋼ミル新設	-	-	2020/5予定

## 【海外】第5次中期経営計画期間の設備投資計画

		2018年度 (単位：億円)	
		中計	実績
海外 グループ	設備投資	28	26
	減価償却	36	30

単位：億円

案件	中計 予算額	2018年度 投資額 (億円)	完成時期
2018年度 (第85期) 実績			
米国MOST社 新工場建屋建設	2.6	3.6	2018/5済
米国Leavitt社 寸法切り設備新設	1.2	1.0	2018/5済
米国Leavitt社 2インチミル更新	4.4	5.0	2018/7済
米国MOST社 2インチミル新設	4.1	5.0	2018/11済
米国MAC社 2インチミル更新	4.4	4.7	2018/12済
フィリピンMPST社 工場・事務所建屋建設、生産設備新設	15.7	6.0	2019/5予定
2019年度 (第86期) 以降			
メキシコMMX社 切断工場建設・切断機増設	4.2	-	2019/9予定
ベトナムSUNSCO社 第2冷延ミル新設	33.0	-	2021/6予定
インドKUMA社 新工場建設・製造設備新設	-	-	2020年末頃予定

# 第5次中期経営計画の進捗状況（課題と主要施策）

## 国内での取り組み

課題と主要施策	取組実績
<p style="text-align: right;">P 35</p> <p>①高収益体質の維持、営業力の更なる強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京工場 2号機製管機更新（2018年6月）</li> <li>・丸一鋼販(株)新潟営業所移転（2019年3月）</li> </ul>
<p>②人手不足時代への対応と生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoTやAIを活用した生産、事務の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造の見える化推進 設備の異常停止や不良発生などの製造データのデジタル化・分析 (堺工場 1号機で導入済・5号機で導入中)</li> <li>・設備メンテナンス記録日報のデジタル化 (堺工場・東京工場・名古屋工場で運用計画中)</li> <li>・設備台帳システムの構築・設備予備品の全社共有管理実施（堺工場・東京工場・名古屋工場で運用計画中）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備更新、採用方針や働き方の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社会むグループ4拠点の統合、移転</li> <li>・採用ホームページ、採用リーフレットのリニューアル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性人材、外国人の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業早期復職サポート制度の拡充</li> <li>・外国人留学生の採用（2018年度：1名）</li> <li>・外国人技能実習生の受け入れ（2019年度：4名予定）</li> </ul>

## ■ 丸一鋼販株式会社 新潟営業所移転

新潟県南蒲郡田上町に新営業所・倉庫を新設し、手狭となっていた前営業所から移転。  
新たにコラムの切断・開先設備を設置し、営業所内で切断加工が可能となった。

在庫品種の拡充



幅広い切断加工ニーズ・短納期への対応

### 新営業所の詳細

- ・所在地：新潟県南蒲郡田上町
- ・敷地面積：9,990.5㎡  
(うち倉庫：4,414㎡)
- ・従業員数：5名 (2019年3月時点)



外観



倉庫内開先機

# 第5次中期経営計画の進捗状況（課題と主要施策）

## 海外での取り組み

課題と主要施策	取組実績
①米国3社：新設/更新設備の活用、販売力の一層の強化による業容拡大	P 37 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MOST社新工場建設、2インチミル新設</li> <li>・ Leavitt社寸法切り設備新設、2インチミル更新</li> <li>・ MAC社2インチミル更新</li> </ul>
②SUNSCO (HCM) 社：パイプを中心とした国内営業力の強化と設備稼働率/歩留りの改善による一層のコスト削減と黒字体質の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内販売人員の拡充と代理店数の拡大に注力中</li> <li>・ ハノイ地区の営業力強化のためSUNSCO(HNI)内に製品の備蓄とデリバリーのスピードアップを計画</li> <li>・ 全社を挙げた製造コスト削減のための取り組み強化</li> </ul>
③自動車/二輪関係：各国での生産拡大に対応した設備投資の実施と営業力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィリピンMPST社の操業開始（2019年5月）</li> </ul>
④優秀な現地人材の確保と一層のレベルアップ・本社派遣者から現地人材への交代促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き海外各社で、生産及び営業の現地幹部の養成に注力</li> </ul>
⑤海外収益の配当/Royalty等での国内への利益還元強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2017年度US\$9.7m、2018年度US\$10.5mの配当及びRoyaltyを受領</li> </ul>

## ■北米3社の設備更新による、製造販売体制強化が完了

2018/3

- MAC社 新製品倉庫建設

2018/5

- MOST社 新工場建屋建設
- Leavitt社 寸法切り設備新設

2018/7

- Leavitt社 2インチミル更新

2018/11

- MOST社 2インチミル新設

2018/12

- MAC社 2インチミル更新

MOST→製造可能サイズの拡大  
(小径管ニーズに対応可能に)  
MAC・Leavitt→生産性の向上



2018年11月新設 MOST社 2インチミル



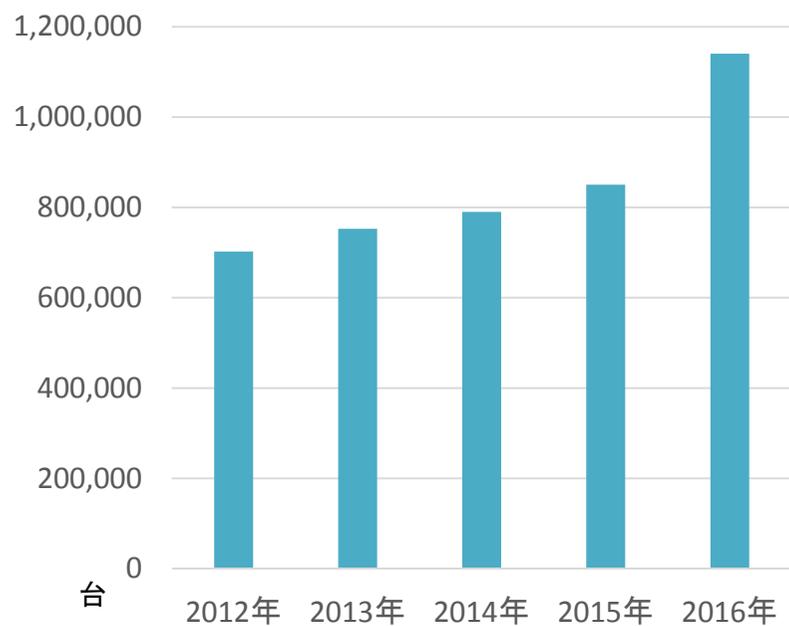
2018年12月更新 MAC社 2インチミル

### ■ Maruichi Philippines Steel Tube Inc.(MPST社) 建屋、製造設備完成

設立のねらい：  
フィリピンにおける自動車・二輪車の急速な需要増と現地生産の加速に伴い、自動車・二輪車メーカー各社に高品質の素材を供給する。



フィリピン（MDPPA加盟企業）の二輪車販売台数



所在地：フィリピン共和国バタンガス州リパ市LIMA工業団地内  
設備概要：造管機1台、切断機他  
敷地面積：28,928㎡ 稼動時期：2019年5月 ※非連結子会社

出典：Motorcycle Development Program Participants Association, Inc. (MDPPA)

# 第5次中期経営計画の進捗状況（課題と主要施策）

## 国内外共通の取り組み

課題と主要施策	取組実績
①より一層の環境への配慮、エネルギー効率の向上、安全への対応強化	P43を参照（丸一鋼管グループのSDGsへの取組実績）
②労働時間及び人件費あたりの労働生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内基幹工場にて、生産ラインや設備メンテナンスにおけるIoT技術を活用したシステムの運用を開始</li> <li>・老朽化ラインの更新を進め、生産性と安全性の向上に効果を発揮</li> </ul>
③国内外でのM&Aを含めた事業投資の積極的な検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き国内での新分野、新地域での事業の可能性を検討</li> </ul>

# 第5次中期経営計画の進捗状況（課題と主要施策）

## 株主重視政策及び社会貢献方針の堅持

課題と主要施策	実績
①配当方針：「単体経常利益×(1 - 法人実行税率) ×50%」の堅持	P41を参照
②配当実施後の単体純利益の0.5%程度の社会貢献支出の継続	2018年度配当実施後の単体純利益：5,944百万円 2018年度社会貢献支出：25百万円
③国内外での社会貢献の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：文化芸術、スポーツ、医療、教育、自然環境保護分野への貢献</li> <li>・新興国：貧困撲滅、健康医療、教育振興への貢献強化</li> </ul>	国内： <ul style="list-style-type: none"> <li>・正倉院展協賛（2012年度～）</li> <li>・ワンコイン文楽協賛（2018年度～）</li> <li>・劇団四季こころの劇場協賛（2015年度～）</li> <li>・2025日本万国博覧会誘致委員会協賛（2017年度～）</li> <li>・2019年G20大阪サミット支援（2019年度）</li> </ul> 新興国： <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア失明予防の会支援（2015年度～）</li> </ul> インドBal Niketan 高等学校の学生に奨学金支給（KUMA社にて実施・2017年度～・2019年度増額予定）

## ■ 高い配当性向の維持

### 【配当方針の堅持】

- ・ 個別損益計算書におけるみなし当期利益（※）の50%相当を年間配当とする

※みなし当期利益：経常利益×（1-実効税率）

2019年3月期：30.5%、2020年3月期(予定)：30.5%、2021年3月期(予定)：30.5%

- ・ 一株あたり最低年間配当額は50円を維持

**【目標】** 最終年度2020年度に 株主還元率（単体）50.0%以上、ROE6.5%以上

(参考) 配当の実施状況

(( )内は一株当たり配当：円 単位：百万円)

				自社株買 株数/金額	当期純利益 (単体)	配当性向 (単体)	総還元率 (単体)	ROE (連結)
	中間配当額	期末配当額	年間配当額					
2017年3月期	(25.00) 2,069	(59.50) 4,923	(84.50) 6,992		14,091	49.6%	49.6%	7.4%
2018年3月期	(25.00) 2,071	(55.50) 4,598	(80.50) 6,669		13,828	48.2%	48.2%	6.2%
2019年3月期	(25.00) 2,071	(49.00) 4,059	(74.00) 6,130		12,074	50.8%	50.8%	5.4%
2020年3月期予想	(25.00) 2,071	(52.50) 4,349	(77.50) 6,420		12,734	50.4%	50.4%	5.5%
2021年3月期目標 (第5次中計最終年度)					14,200	50.0%	50.0%	6.5%

- ・ 自己株式取得 2015年7月 100万株、2016年1月 100万株

# 丸一鋼管グループのSDGsへの取組

丸一鋼管グループは、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献の重要性を認識し、下記を達成すべき項目として掲げます。今後、第5次中期経営計画を推進する中で、当社の重要課題解決に向けグループ一丸となって取り組めるように、社内でSDGsの浸透を図ります。

**事業活動による価値創造**  
優れた品質の鋼管製品供給  
お客様のニーズに対応し信頼に応える

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 企業価値を支える基本的な考え方

多様な人材の活躍	環境への配慮 <b>E</b>	安全への対応強化 <b>S</b>	ガバナンス <b>G</b>	社会貢献活動 <b>S</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成に注力 <b>S</b></li> <li>ダイバーシティ文化の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー効率の向上</li> <li>省エネ</li> <li>資源の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害の撲滅</li> <li>安全教育</li> <li>社員の健康確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適時適切な情報開示</li> <li>経営の透明性の向上</li> <li>コンプライアンスの徹底</li> <li>BCPへの取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の教育、医療、文化活動、環境保護、スポーツ等幅広く支援</li> </ul>

ESG課題に関連付けながら取り組む（ **E** **S** **G** で表示）

## 環境への配慮

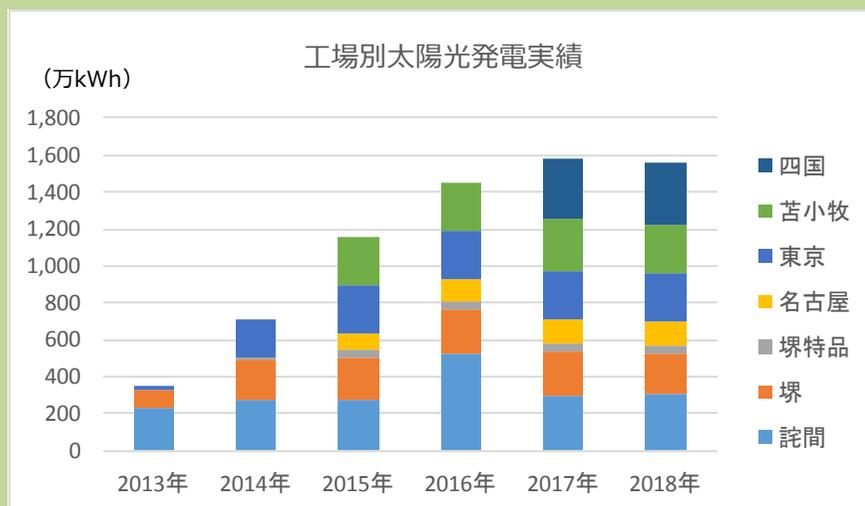
E



## 温暖化防止施策

### 再生可能エネルギーの活用(メガソーラー事業)

- ・全国各地（国内7工場10拠点）に太陽光発電設備を設置



2017年度より詫間工場と四国工場を分割計上

パリ協定（2015年COP21にて採択）に沿って、2013年度比削減を実行中

（丸一鋼管の取組実績）  
2013年度を基準とする2017年度実績比率

・エネルギー原単位※ **96.5%**

※原油換算エネルギー使用量÷生産量

・CO2排出量※ **98.5%**

※当社国内グループの使用エネルギーの約75%は電力会社より購入しており、二酸化炭素排出量の削減の達成には電力会社での排出削減が大きく関係しています。

- ・溶接設備の省エネタイプへの更新
- ・廃熱利用設備の導入
- ・モーターのインバーター制御化
- ・高効率変圧器やLEDなどの省エネ機器採用
- ・省エネ会議の毎月開催

## 多様な人材の活躍 **S**

### 外国人留学生の採用

2018年度：中国人 1名

### ベトナム人技能実習生の受け入れ

2019年度 4名受け入れ予定

### グローバルビジネス研修の実施

海外出向予定者など対象に、異文化コミュニケーションについての研修を実施

### LGBTへの理解

国内グループ全社員対象の  
コンプライアンス研修内で取り上げ

### 女性活躍推進

- ・女性社員向け研修会
- ・男性管理職向け研修会
- ・女性が積極的に働き続けられる環境の整備（育児支援・復職支援制度）



## 安全への対策強化 **S**

### 安全教育の充実

- ・安全教育部の設置（2015年10月～）
- ・新入社員への安全教育
- ・入社年次別の安全教育

### 労働災害撲滅に向けた取り組み

- ・全社安全生産会議の実施  
毎回開催工場を変え、現場巡視も含めた会議を2ヶ月に1回実施

### メンタルヘルスへの配慮

- ・管理職・監督職を対象とした研修
- ・ストレスチェックの実施
- ・高ストレス者へのフォロー体制の整備

### 時間外労働改善委員会の設置

委員会を設置し、労使で定期的に時間外労働の削減に向けて協議



危険体感施設（堺工場）での研修

## コーポレートガバナンス向上のための取り組み① G



### 取締役会の構成

- ・社外取締役の登用  
(2018年6月総会時点 社内4名、社外3名)

### 取締役会の評価

- ・取締役会の運営・構成等に関する評価実施  
(2016年4月以降毎年実施)

### 取締役の指名・報酬

- ・取締役の指名報酬に関する諮問委員会設置 (2015年11月)
- ・取締役、執行役員に対する株式報酬制度導入 (2016年7月)

### コーポレートガバナンスガイドライン の制定・改訂

- ・コーポレートガバナンス・ガイドラインの策定 (2015年)
- ・コーポレートガバナンスコード改訂に伴うコーポレートガバナンス・ガイドラインの更新 (2018年)

### コンプライアンス研修の実施

国内グループ全従業員を対象とした研修の実施

実施年度	実施テーマ
2018年度	セクシャルハラスメント (マタハラ・LGBT) パワーハラスメント
2017年度	SNSを利用した情報発信
2015年度	多様な雇用形態・セクシャルハラスメント
2014年度	退職/解雇について・労働者派遣 パワーハラスメント

## コーポレートガバナンス向上のための取り組み②

G



### コンプライアスマニュアルの作成・配布

遵守事項（要約）		
1.人権の尊重、差別・セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの禁止、個人情報保護	6.知的財産権関連諸法	11.情報システムの適切な使用
2.独占禁止法及び関連諸法の遵守	7.贈賄の禁止及び贈答・接待等	12.適正な経理処理・税務申告と適正な会社情報の開示
3.不正競争の禁止	8.反社会的勢力への利益供与の禁止	13.利益相反行為等の禁止
4.各種法令、規則の遵守	9.環境保全	14.当局への報告・捜査協力
5.インサイダー取引規制	10.情報の適切な管理	15.政治運動等への参加ルール

### コンプライアンス委員会・ コンプライアンス相談窓口の設置

- ・コンプライアンス委員会の設置
- ・社内コンプライアンス相談窓口
- ・社内コンプライアンス女性専用窓口
- ・社外コンプライアンス窓口 を設置

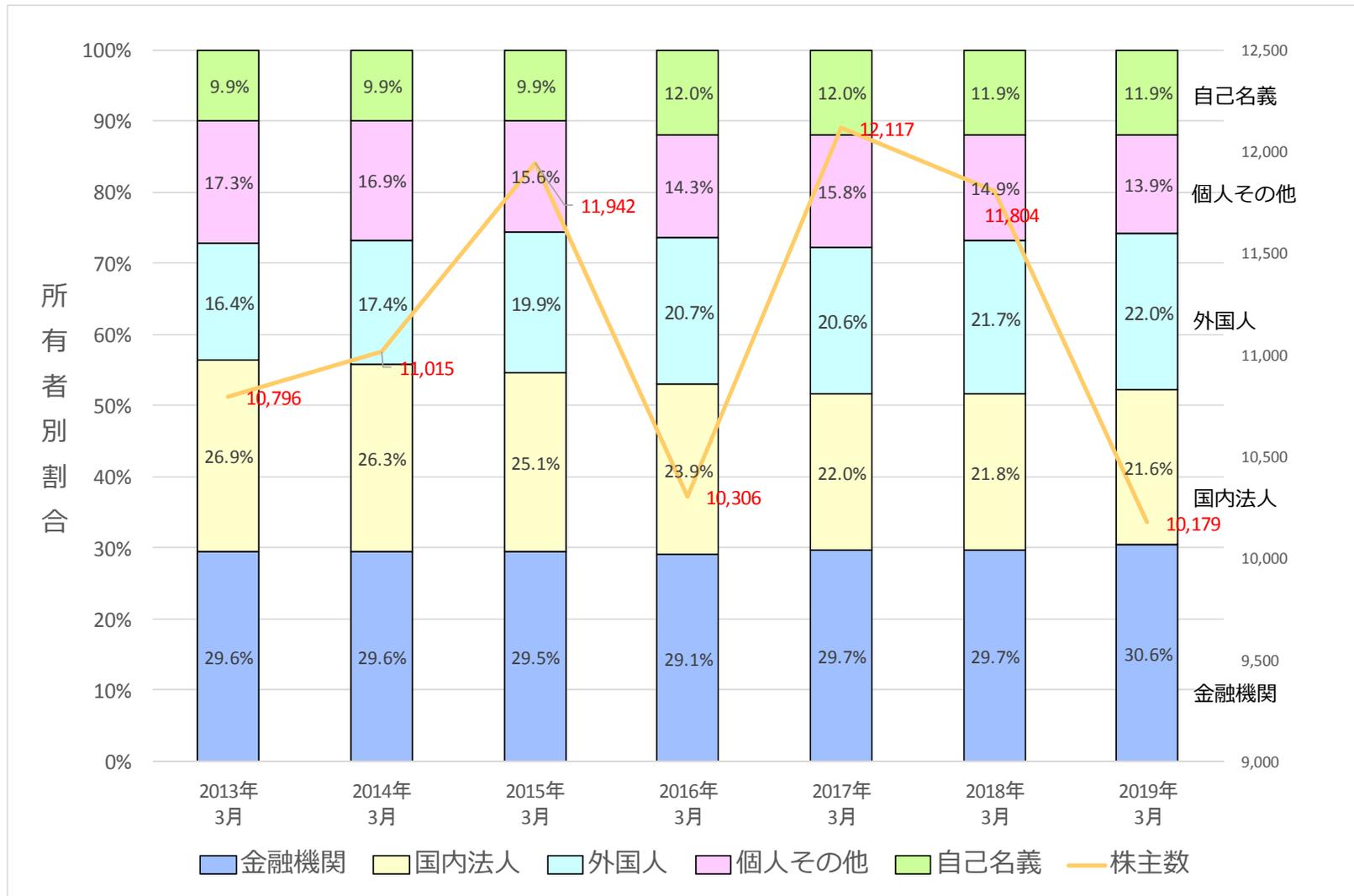
### 適時適切な情報開示

2018年度 日本証券アナリスト協会  
「高水準のディスクロージャーを連続 維持している企業」に選定



# (参考) 株主構成変化

(数値は株数)  
(単位：千株)

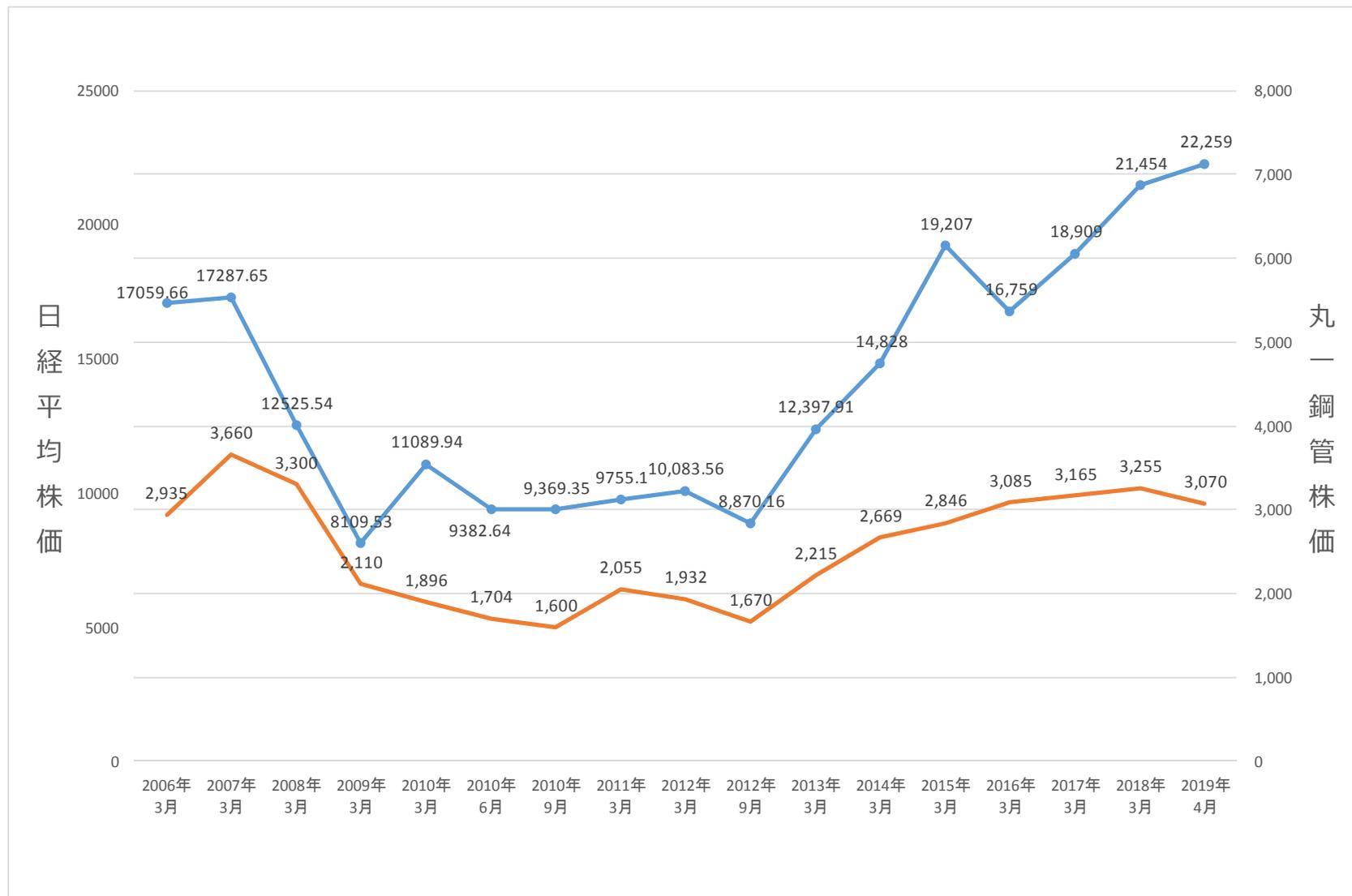


2005年10月より単元株を100株へ引き下げ、2008年4月 自己名義株のうち、426万株を消却

# (参考) 株価の動き 月末終値ベース



(単位：円)



## (参考資料) 海外各社の概要と業績の推移

# ベトナム SUNSCO社

**社名** Maruichi Sun Steel Joint Stock Company  
 (SUNSCO社)  
**設立** 1996年6月 (2006年資本参加)  
**所在地** ベトナム ホーチミン 及び ハノイ  
**資本金** US \$ 130百万  
**株主構成**

丸一鋼管	72.53 %
豊田通商	9.73 %
JFEスチール	8.00 %
台湾株主	9.74%

  
**従業員数** 554 人 建屋を延長  
**生産実績** 年間 251,000 MT



Maruichi Sun Steel (Hanoi) Company Limited  
製品倉庫 (2018年3月完成)



Maruichi Sun Steel Joint Stock Company (ホーチミン)

業績の推移(含HANOI)

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2014年12月	256	▲ 2
2015年12月	196	5
2016年12月 実績	202	17
2017年12月 実績	226	▲ 1
2018年12月 実績	230	▲ 3
2019年12月 予想	235	7
第5次中期計画(2020年12月) 目標	258	20

5月発表

## 米国 Leavitt社

社名 Maruichi Leavitt Pipe&Tube, LLC  
(Leavitt社)

設立 1956年 (2008年資本参加)

所在地 イリノイ州、シカゴ

資本金 US \$ 25,225千

株主構成 MKK USA. INC 90.00 %  
米国住友商事 10.00 %

従業員数 117 人

生産実績 年間 109,500 MT



2インチミル(2018年7月更新完了)

### 業績の推移

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2014年12月	130	▲ 17
2015年12月	102	▲ 26
2016年12月	90	5
2017年12月 実績	106	6
2018年12月 実績	127	10
2019年12月 予想	122	4
第5次中期計画(2020年12月) 目標	123	9

# 米国 MAC社

社名 Maruichi American Corporation (MAC社)

設立 1978年12月

所在地 カリフォルニア州

資本金 US \$ 7.5百万

株主構成	丸一鋼管	53.00 %
	メタルワン	30.00 %
	丸一鋼販	8.00 %
	三菱UFJ銀行	5.00 %
	三井住友銀行	4.00 %

従業員数 67 人

生産実績 年間 73,900 MT



2インチミル(2018年12月完成)

## 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2014年12月	62	3
2015年12月	60	0
2016年12月	60	6
2017年12月 実績	68	3
2018年12月 実績	87	9
2019年12月 予想	90	3
第5次中期計画(2020年12月)目標	74	6

## 米国 MOST社

**社名** Maruichi Oregon Steel Tube, LLC  
 (MOST社)  
**設立** 2015年  
**所在地** オレゴン州、ポートランド  
**資本金** US \$ 55百万  
**株主構成** MKK USA 100 %  
**従業員数** 55 人  
**生産実績** 年間 46,000 MT



MOST社 2インチミル(2018年11月新設)

### 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2015年12月	35	0
2016年12月	39	4
2017年12月 実績	48	3
2018年12月 実績	54	1
2019年12月 予想	66	2
第5次中期計画(2020年12月) 目標	59	5

## メキシコ MMX社

社名	MARUICHIMEX S.A. de C.V. (Maruichimex社)		
設立	2012年1月		
所在地	メキシコ アグアスカリエンテス州		
資本金	US \$ 2,080万相当		
株主構成	MAC	30.00	%
	MKKUSA	30.00	%
	伊藤忠丸紅 鉄鋼グループ	20.00	%
	豊田通商	20.00	%
従業員数	74 人		
生産実績	年間 11,100 MT		



切断工場 (2019年4月完成)

### 業績の推移

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2014年12月	12	1
2015年12月	15	3
2016年12月	18	4
2017年12月 実績	19	4
2018年12月 実績	20	3
2018年12月 予想	23	4
第5次中期計画(2020年12月) 目標	29	6

# インド KUMA社

**社名** Maruichi KUMA Steel Tube Private Limited  
 (KUMA社)  
**設立** 2003年11月(2009年資本参加)  
**所在地** インド ハリヤナ州 グルガオン マネサール  
 及び バンガロール  
**資本金** INR 113百万  
**株主構成** 丸一鋼管 70.00 %  
 豊田通商 30.00 %  
**従業員数** 109 人  
**生産実績** 年間 28,500 MT



バンガロール工場

## Gujarat工場新設予定

建屋完成:2019年末  
 設備完成:2020年末まで  
 インドの四輪二輪生産量増加に伴い、  
 2021年度には既存2工場ではフルキャパシ  
 ティとなる予定  
 新工場建設によって生産能力拡大を図る

## 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2014年3月	31	3
2015年3月	34	2
2016年3月	35	2
2017年3月	41	4
2018年3月 実績	57	6
2019年3月 予想	56	6
第5次中期計画(2021年3月)目標	74	8

社名	Maruichi Metal Product (Foshan) Co.,Ltd. (MMP社)		
設立	2005年4月		
所在地	広東省佛山市		
資本金	US\$ 1,800万		
株主構成	丸一鋼管	35.00	%
	巨冠有限公司	35.00	%
	Chung Mao Trading	15.00	%
	豊田通商	10.00	%
	メタルワン	5.00	%
従業員数	229 人		



武漢工場



丸一金属制品(佛山)有限公司



丸一金属制品(天津)有限公司

# インドネシア ISTW社

社名	PT. Indonesia Steel Tube (ISTW社)		
設立	1972年12月		
所在地	ジャカルタ		
資本金	US\$ 435万 相当		
株主構成	丸一鋼管	20.00	%
	メタルワン	60.00	%
	現地	20.00	%
従業員数	540 人		



ジャカルタ工場



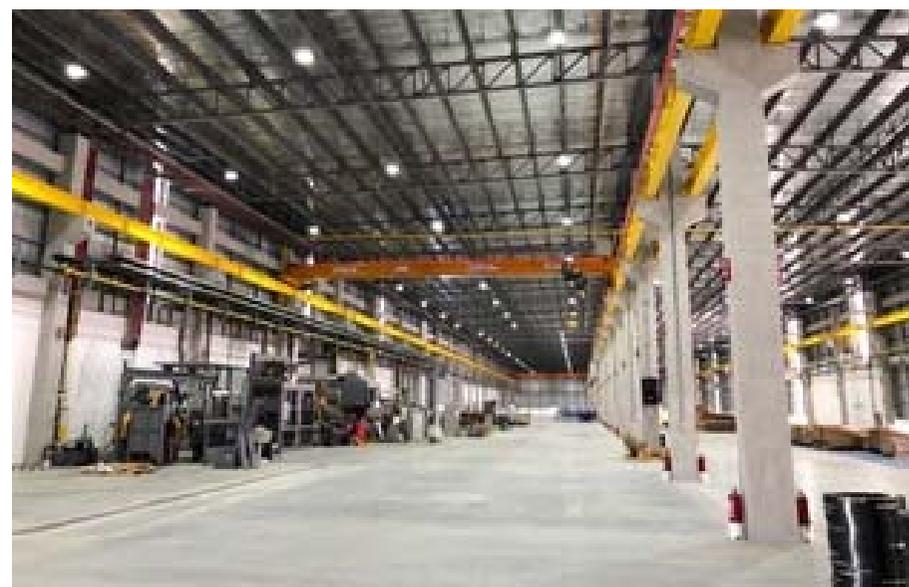
ジャカルタ東部 チカラン工場 (2019年3月新工場建屋完成)



セマラン工場

## フィリピン MPST社

社名	Maruichi Philippines Steel Tube Inc.(MPST社)		
設立	2018年2月		
所在地	バタンガス州		
資本金	US \$ 1,550万 相当		
株主構成	丸一鋼管	70.00	%
	豊田通商	30.00	%

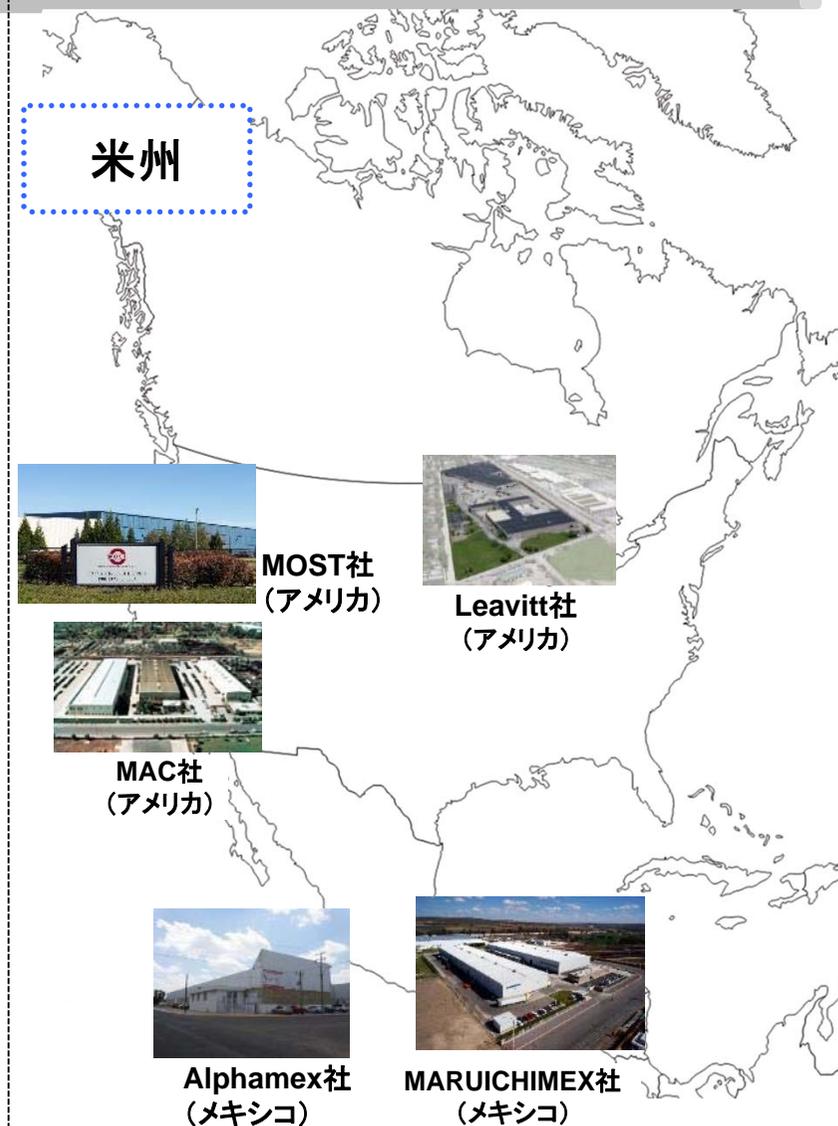


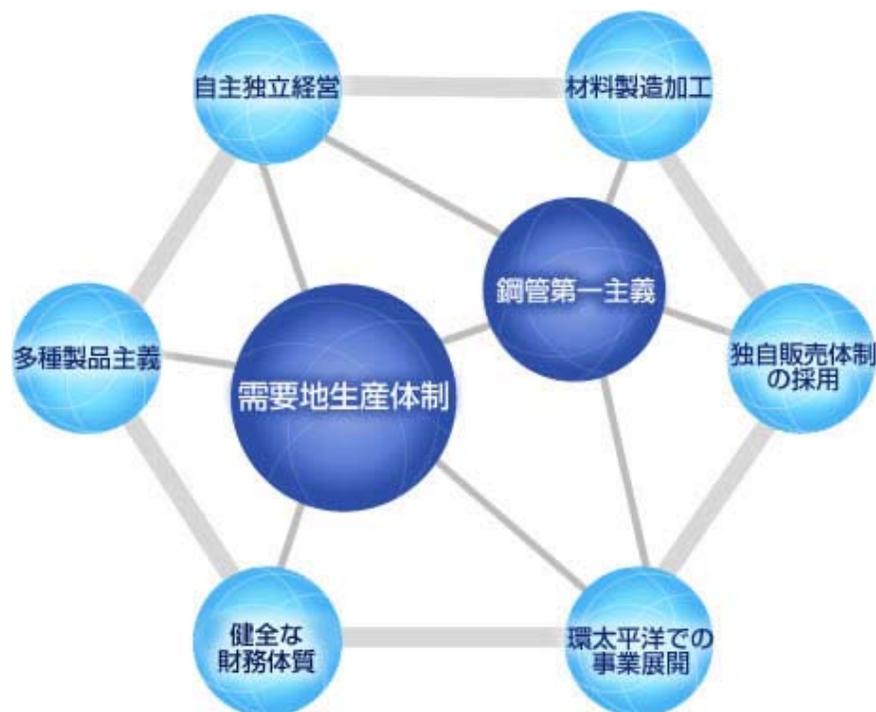
# (参考資料) 丸ーグループの特色

- わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。



### 3. 海外生産拠点





### 需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 12 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

### 多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

### 材料製造加工

詫間工場で加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

### 自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

### 健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

### 鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

### 独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がビビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

### 環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

## 5. 沿革

1926	自転車部品製造の丸一製作所を発足	1989	詫間工場を新設	2015	MOST社 連結子会社化
1935	自転車鋼管の製造を始める	1998	北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を 苫小牧工場に統合	2016	大阪工場 集約完了
1940	丸一鋼管工場と改称	2000	新広島事務所・倉庫完成	2018	フィリピン MPST社 設立 本社、大阪事務所、営業部電材課、 丸一鋼管株式会社 本社、同大阪営業所を 大阪市中央区難波に移転
1948	株式会社丸一鋼管製作所を設立	2001	詫間工場に焼鈍設備を新設	2019	フィリピン MPST社 操業開始
1956	大阪出張所を改組し、丸一鋼管株式会社を設立	2002	東京第二工場新倉庫を建設		
1957	大阪工場を新設	2003	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設		
1958	東京事務所を開設 米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を 輸入し、電縫管メーカーに転換	2005	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承		
1960	丸一鋼管株式会社と商号変更 名古屋事務所開設	2006	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工 中国 MMP社操業開始 東洋特殊鋼業へ出資 ベトナム SUNSCO社へ出資		
1961	東京工場を新設	2007	名古屋工場0.5インチミル増設 堺工場 第6工場の新設 設備稼働 詫間工場 メッキ炉改造工事 酸洗ライン トリミング設備設置		
1962	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場	2008	SUNSCO社・LEAVITT社 連結子会社化 堺工場リニューアル工事完了		
1964	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場 福岡事務所を開設	2009	インド KUMA社 子会社化 セイケイ 堺製造所 稼働		
1965	堺工場を新設	2010	アルファメタル 連結子会社化 SUNSCO社 16インチミル増設 SUNSCO社 HANOI社 操業開始 ベトナム J・スパイラルスチールパイプ社へ出資		
1966	名古屋工場を新設 (昭和59年現名古屋工場へ統合) 広島事務所を新設	2011	中国 MMP天津社 稼働 東京第二工場 ステンレス鋼管工場を新設 堺特品工場 第2工場を増設		
1970	北海道丸一鋼管株式会社を設立 札幌事務所を開設	2012	中国 MMP社 武漢工場新設 東京第二工場 第3工場を新設 メキシコ Maruichimex社設立		
1971	インドネシア ISTW社を設立	2013	詫間工場 メガソーラー発電所 稼働 SUNSCO社 第2CGL・CCL稼働		
1972	特品工場を新設 大阪事務所を開設	2014	東京工場 集約完了 Maruichimex社 連結子会社化		
1973	東京工場第二工場を新設				
1974	四国丸一鋼管株式会社を設立 九州丸一鋼管株式会社を設立				
1977	名古屋第二工場(現名古屋工場)を新設				
1978	本社を大阪市西区北堀江に移転 アメリカ MAC社を設立				

## 丸一鋼管グループの方向性について

1. 今後も株主重視の経営を推進し、株主価値の最大化に向けて  
不断の努力を続けて参る所存です。そして、鋼管業界において  
グローバルでみて質・量共に世界でもトップと言える企業集団へ  
成長発展を続けてまいります。
2. 新たに策定いたしました第5次中期経営計画のもと、事業環境  
が急激に変化するなか、引き続き社会の要請に応えながら高い  
収益力を維持しつつ、将来の成長に必要な投資を積極的に行い、  
さらなる成長を目指してまいります。

# Devoted to Steel Tubes



# 丸一鋼管株式会社

## 注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。